



# 2016年11月号 投信マーケット MAB アナリスト・アイ

2016年11月14日作成



## 目次

### I. 投信マーケットの動き

10月の市場動向	P 4
投資信託全体	P 5 ~ P 1 0
国内株式	P 1 1
国内債券	P 1 2
先進国株式	P 1 3
エマージング株式	P 1 4
先進国債券	P 1 5
エマージング債券	P 1 6
ハイイールド債券	P 1 7
REIT	P 1 8
複合資産	P 1 9
資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移	P 2 0 ~ P 2 5

### II. 今月のトピック

『外国株式（先進国）ファンド』	P 2 6 ~ P 3 7
-----------------	---------------

# I . 投信マーケットの動き

## 金融市場動向

- ◆ 10月の米大統領選世論調査では、一貫してクリントン候補が優勢であったため、各市場はクリントン候補の当選を織り込んだ上での動きとなった。また、資源価格の上昇や良好な経済指標の発表等を受けて、米国の年内利上げ観測が台頭したことも各市場動向に大きな影響を与えた。
- ◆ 株式市場は、日本では、米国の利上げ観測等による円安の影響を受け、上昇基調で推移した。一方、米国では、利上げを警戒する動きから小幅に下落、欧州では、ユーロ圏経済の下振れリスク等が意識され軟調な動きとなった。新興国では、ブラジルにおいて、政策金利の引き下げや経済の底入れ等が好感され上昇したが、新興国市場全体としては大きな動きはなかった。
- ◆ 債券市場は、米国の長期金利が利上げ観測等により上昇、欧州もそれにつられるかたちで上昇したが、日本では、日銀による長短金利操作政策の影響で、安定的に推移した。
- ◆ 為替市場は、米国の長期金利上昇により、米ドル高・円安で推移した。対ユーロにおいては、ユーロ圏の経済指標が底堅く推移したこと等から、前月末対比ユーロ高・円安となった。

## 投信マーケット動向

- ◆ 10月の公販ファンドの資金流入（MAB推計）は620億円の流出超となった。世界経済の先行き不透明感により流入額が減少する中、為替相場が円安にふれたことで利益確定売りの動きが広がった。
- ◆ 流入額では、REIT（1,230億円）がトップであったが、流入額は減少した。個別ファンドでは、「フィディリティ・USリート・ファンドB」（529億円）が1位。次いで、9月に新規設定された「グローバルAIファンド」（339億円）、「LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月分配）」（308億円）。
- ◆ 流出額では、4ヵ月連続で国内株式（1,360億円）が最も多かった。10月は、円安によりパフォーマンスが改善し、戻り売りの動きが広がったことで流出額が拡大した。
- ◆ 資産別のリターンでは、国内株式がトップ。次点では、ハイイールド債券や新興国資産が、資源価格の上昇や良好な経済指標等を好感し上昇した。一方で、REITの下落が目立っている。米国の長期金利が上昇したことによる、物件調達コストの増加に加えて、REIT・債券間の利回り差の縮小等が下落の主な要因となった。

## 💡 米長期金利の上昇により、REITのパフォーマンスが悪化

- 国内株式が円安による株価上昇でトップ。次点では、ハイイールド債券や新興国資産が、資源価格の上昇や良好な経済指標等を好感し上昇した。
- REITが3か月連続で下落した。米国の長期金利が上昇したことによる、物件調達コストの増加に加えて、REIT・債券間の利回り差の縮小等が下落の主な要因となっている。

<各資産のリターン順位の推移> 2015年11月～2016年10月の月次、直近3ヵ月・直近6ヵ月・1年間

	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	2016年8月	2016年9月	2016年10月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	
リターン 上位	国内株式 3.1%	国内債券 0.3%	国内債券 0.6%	国内債券 0.7%	エマーヅング株式 10.6%	ハイイールド債券 1.4%	国内株式 2.3%	国内債券 0.8%	エマーヅング株式 7.1%	エマーヅング株式 0.7%	国内株式 1.2%	国内株式 5.2%	国内株式 5.3%	国内株式 3.2%	国内債券 2.3%	
	エマーヅング債券 1.3%	REIT -0.9%	先進国債券 -1.5%	REIT -0.2%	エマーヅング債券 6.9%	先進国株式 0.6%	国内債券 0.2%	エマーヅング債券 -1.4%	先進国株式 6.3%	ハイイールド債券 0.3%	国内債券 0.1%	ハイイールド債券 3.9%	ハイイールド債券 3.8%	エマーヅング株式 3.1%	エマーヅング債券 0.1%	
	先進国株式 0.8%	先進国債券 -1.8%	エマーヅング債券 -2.9%	エマーヅング債券 -2.8%	国内株式 6.7%	エマーヅング株式 0.5%	先進国株式 -0.3%	REIT -3.7%	REIT 4.9%	エマーヅング債券 0.0%	ハイイールド債券 -0.4%	エマーヅング債券 3.0%	エマーヅング株式 2.7%	ハイイールド債券 2.4%	ハイイールド債券 -1.7%	
	先進国債券 0.7%	国内株式 -2.2%	REIT -4.2%	先進国株式 -3.1%	ハイイールド債券 6.6%	国内債券 0.5%	先進国債券 -0.8%	ハイイールド債券 -4.0%	国内株式 4.7%	先進国債券 -0.6%	エマーヅング債券 -0.5%	エマーヅング株式 2.9%	エマーヅング債券 2.5%	エマーヅング債券 1.3%	エマーヅング株式 -4.2%	
	REIT 0.6%	先進国株式 -3.1%	ハイイールド債券 -4.5%	ハイイールド債券 -3.4%	先進国株式 6.6%	エマーヅング債券 0.3%	REIT -0.9%	エマーヅング株式 -4.1%	ハイイールド債券 4.6%	国内債券 -0.7%	エマーヅング株式 -0.9%	先進国債券 2.0%	先進国債券 0.1%	国内債券 -0.3%	REIT -5.5%	
	ハイイールド債券 0.6%	エマーヅング株式 -3.2%	国内株式 -7.7%	エマーヅング株式 -3.6%	REIT 5.9%	REIT -0.4%	ハイイールド債券 -1.8%	先進国債券 -4.8%	エマーヅング債券 2.7%	先進国株式 -0.7%	先進国債券 -1.3%	先進国株式 1.3%	国内債券 -0.8%	先進国株式 -2.8%	国内株式 -7.0%	
	国内債券 0.0%	エマーヅング債券 -3.7%	先進国株式 -9.3%	先進国債券 -4.5%	先進国債券 3.5%	国内株式 -0.6%	エマーヅング株式 -2.3%	先進国株式 -7.6%	先進国債券 2.5%	先進国債券 -1.1%	先進国株式 -1.4%	国内債券 -0.2%	先進国株式 -0.8%	先進国債券 -3.2%	先進国債券 -8.2%	
リターン 下位	エマーヅング株式 -0.3%	ハイイールド債券 -4.3%	エマーヅング株式 -10.2%	国内株式 -8.7%	国内債券 0.4%	先進国債券 -1.5%	エマーヅング債券 -2.4%	国内株式 -8.6%	国内債券 -0.5%	国内債券 -0.5%	REIT -2.3%	REIT -1.7%	REIT -2.3%	REIT -6.2%	REIT -6.1%	先進国株式 -10.5%
	1.5%	-1.9%	-5.0%	-4.0%	5.1%	-0.3%	0.0%	-4.9%	4.1%	-1.0%	-0.6%	1.7%	0.1%	-1.0%	-5.7%	

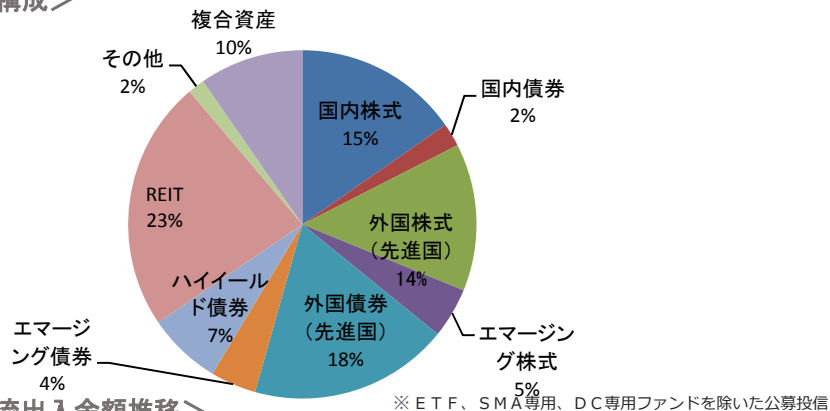


※ E T F、S M A 専用、D C 専用ファンドを除いた公募投信

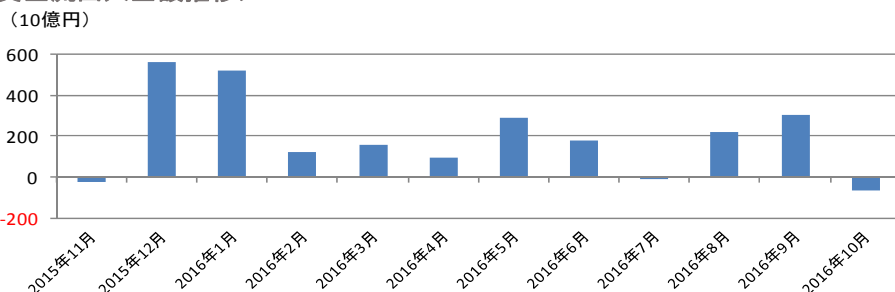
## 重要イベントを前に利益確定売りに押される

- 10月の公販ファンドの資金流入（MAB推計）は米大統領選等の重要イベントを前に620億円の流出超となった。
- REITへの資金流入が減少する中、国内株式から1,360億円もの多額の資金が流出した。円安によりパフォーマンスが改善し、戻り売りの動きが広がったことも、流出額の拡大につながった。

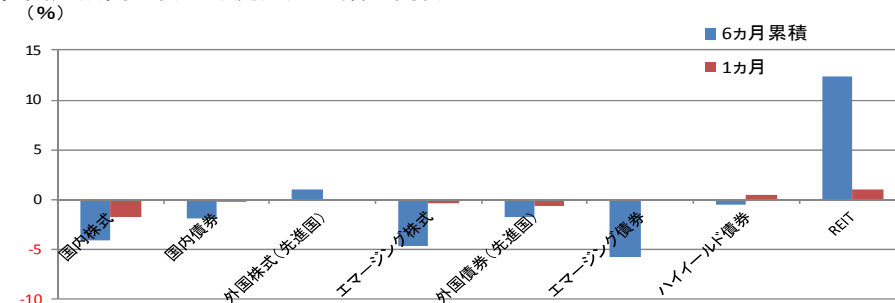
＜残高構成＞



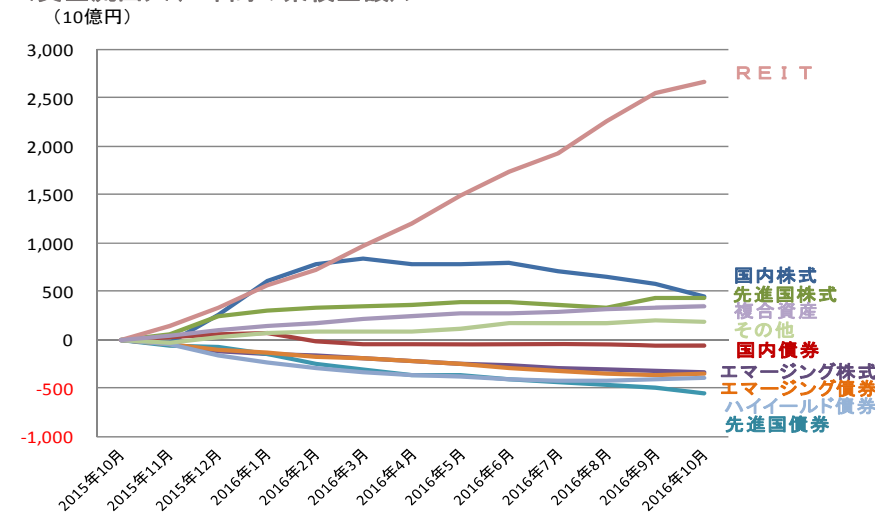
＜資金流入金額推移＞



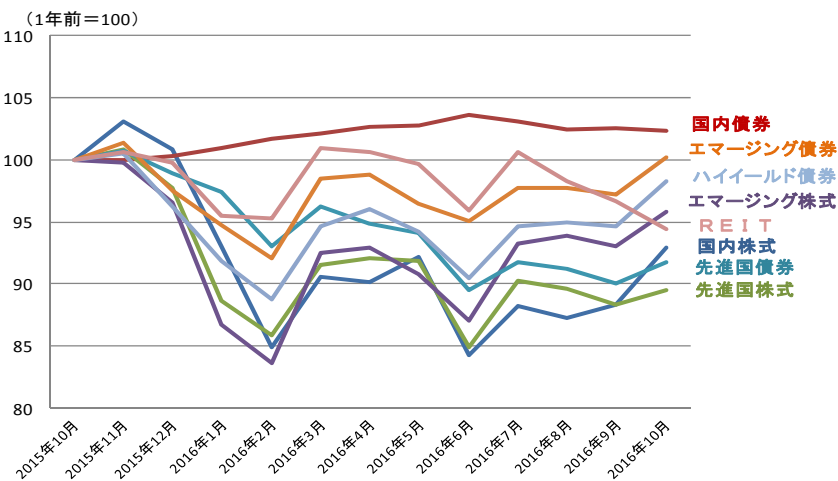
＜純資産残高に占める流出金額の割合＞



＜資金流入(1年間の累積金額)＞



＜リターン推移(1年間)＞



## 💡 REITへの資金流入に陰り

- REITの資金流出入に変化が起きている。これまで、世界的な低金利が続く中、利回りを求める資金はREITに集中。しかし、前月、米国の追加利上げが意識され始めたことで、資金流入の勢いが鈍化した。
- 一方で、REITに向かっていた資金の一部は、ハイイールド債券やエマージング債券に向かいつつある。他の資産の資金流出入が芳しくない中、ハイイールド債券とエマージング債券の資金流出入状況は改善傾向を示している。

<各資産の資金流出入の推移> 2015年11月～2016年10月の月次、直近3ヵ月間・直近6ヵ月間・1年間

(単位:10億円)

	純資産残高	資金流出入															
		2016年10月	2015年11月	2015年12月	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年4月	2016年5月	2016年6月	2016年7月	2016年8月	2016年9月	2016年10月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	1年
国内株式	一般	5,550	72	207	185	111	42	-21	-11	-40	-64	-52	-55	-79	-186	-302	294
	小型	454	-7	-8	0	-1	-8	-13	-7	6	2	3	-6	-5	-9	-7	-42
	インデックスその他	2,101	-100	93	158	74	16	-19	21	46	-31	-7	-10	-52	-69	-33	189
国内債券	一般	1,036	24	28	8	-76	-37	-6	-1	-2	-4	-10	-9	-1	-20	-28	-86
先進国株式	グローバル・複合地域	4,724	57	204	67	24	31	38	29	-14	-21	-26	96	-1	70	64	485
	米国・北米	1,570	-7	-2	-4	1	-11	-16	-14	-31	-31	-33	-37	-30	-100	-176	-215
	欧州	211	-5	-8	-6	-8	-14	-11	-11	-12	-11	-8	-10	-6	-24	-58	-110
エマージング株式	アジア・オセアニア	520	2	-1	4	6	9	12	22	49	37	46	50	40	137	245	277
	グローバル・複合地域	466	-18	-21	-11	-14	-11	-8	-8	-10	-8	-7	-7	-5	-20	-45	-129
	BRICS	876	-9	-14	-6	-6	-7	-8	-8	1	5	14	8	10	31	29	-21
先進国債券	その他	1,075	-25	-33	-8	-6	-5	-12	-12	-7	-30	-23	-17	-14	-53	-102	-190
	グローバル・複合地域	6,371	-19	27	-34	-51	-32	-29	14	-23	-18	-13	-18	-46	-77	-104	-241
	米国・北米	1,076	-15	-19	-23	-26	-14	-12	-4	-7	6	6	0	3	9	5	-104
エマージング債券	欧州	70	-2	-2	-1	-2	-1	-3	-1	-2	-1	-1	-1	-2	-4	-9	-20
	アジア・オセアニア	1,965	-23	-24	-18	-22	-14	-11	-6	-17	-15	-11	-13	-14	-38	-75	-187
	グローバル・複合地域	1,234	-41	-59	-30	-26	-28	-23	-34	-33	-30	-25	-21	-12	-57	-153	-360
ハイイールド債券	BRICS	730	5	4	-2	-2	-3	-3	-1	-6	-6	-4	2	7	5	-8	-9
	その他	263	-7	-9	-2	-2	2	4	2	3	1	5	5	8	18	24	10
	グローバル・複合地域	671	4	-16	-10	-7	-4	-1	2	-7	-1	-4	-3	1	-6	-12	-47
REIT	米国・北米	2,114	-27	-71	-37	-23	-22	1	5	7	19	38	48	41	127	158	-22
	欧州	643	-21	-34	-13	-24	-21	-17	-13	-20	-22	-24	-27	-22	-73	-129	-258
	アジア・オセアニア	179	-0	-4	-3	-5	-3	-11	-7	-12	-6	-4	-2	-4	-10	-36	-64
複合資産	日本	3,098	28	33	22	-30	-18	5	32	30	56	34	18	-3	49	167	207
	グローバル・複合地域	2,848	10	26	55	44	67	47	44	30	6	40	37	-1	76	156	406
	米国・北米	5,036	75	146	152	144	200	176	201	197	161	259	214	121	594	1,153	2,047
	欧州	65	18	-1	-1	-2	-2	-2	-3	-5	-4	-3	-3	-2	-7	-19	-9
ハイイールド債券	416	3	-4	-0	-3	4	3	14	-7	-19	-1	21	8	27	15	17	
その他	4,970	26	59	39	39	43	28	22	10	12	26	22	10	57	101	336	
合計(その他含む)	51,118	-31	562	522	122	161	97	294	134	-31	212	301	-62	451	848	2,282	

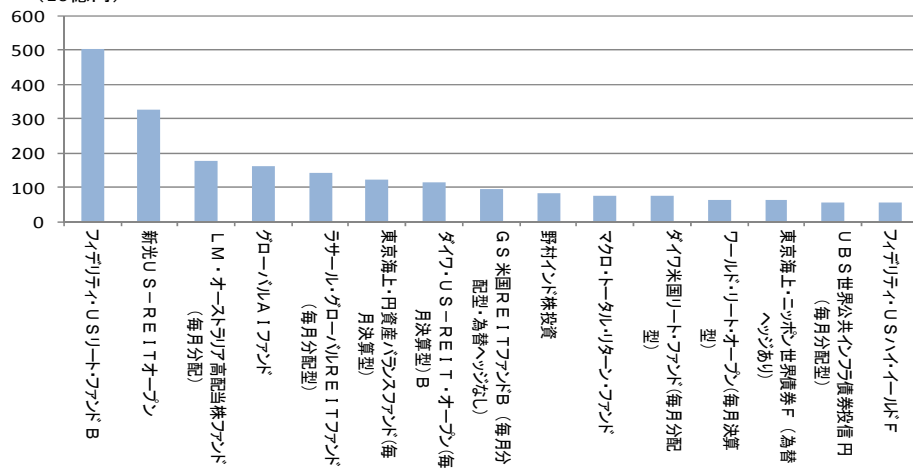
※ETF、SMA専用、DC専用ファンドを除いた公募投信



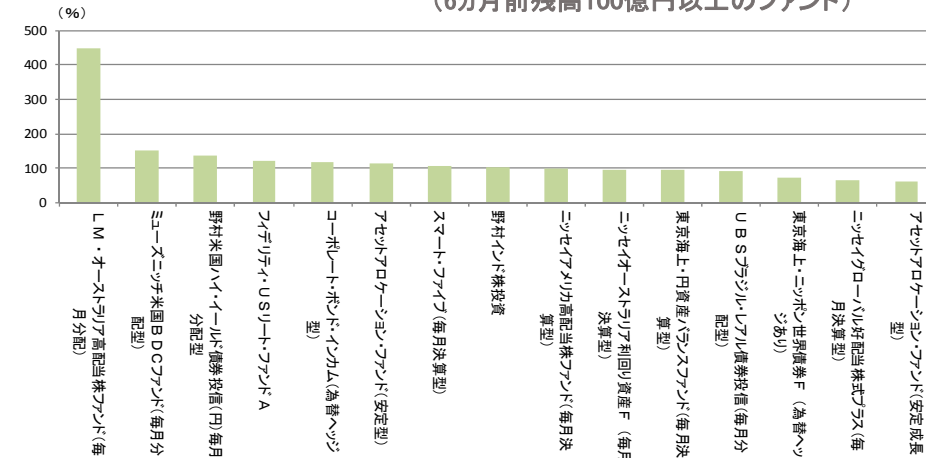
## 💡 ハイイールド債券型が資金流入ファンドに登場

- 資金流入では、前月に引き続き、REIT型ファンドが多数を占めた。しかし、その一方で、数カ月前までは資金流出ファンドの常連であった、ハイイールド債券型の代表的ファンド「フィデリティ・USハイ・イールドF」が15位に姿を見せている。
- 資金流出では、分配金の減額を行う等、運用実績が不調なファンドがこれまでどおり上位に名を連ねた。

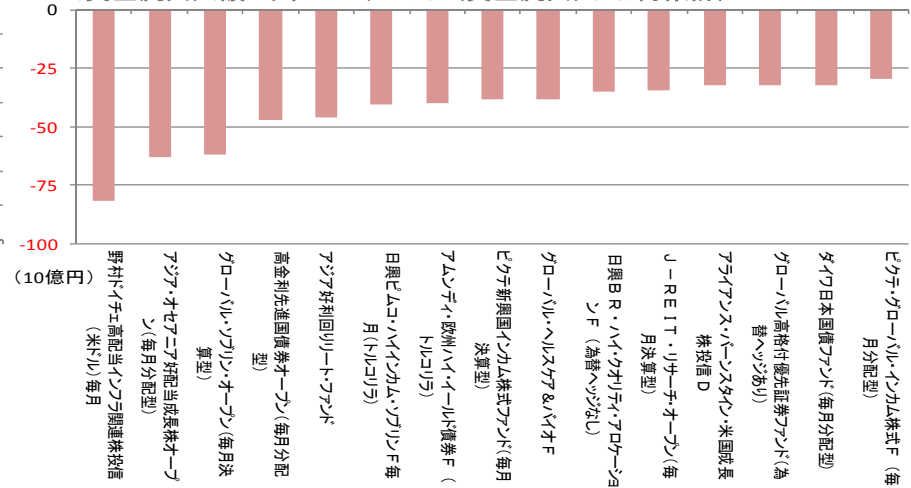
＜資金流入額 上位15ファンド＞（資金流入6ヵ月累計）  
（10億円）



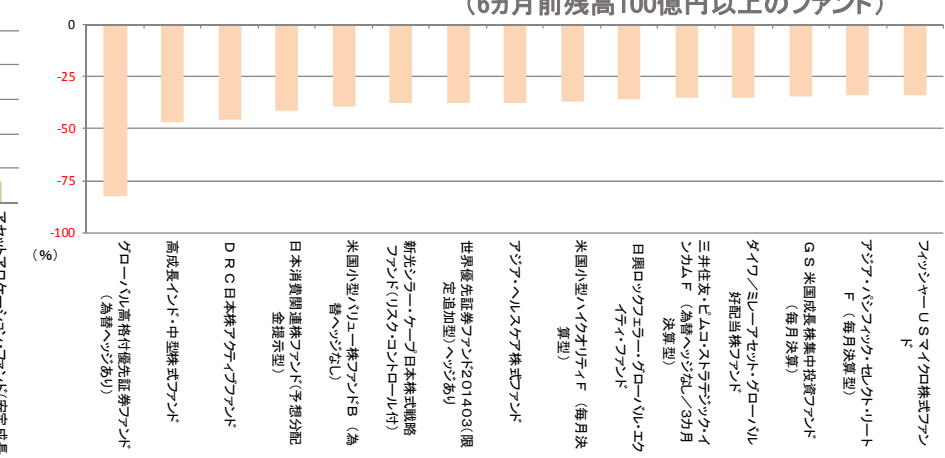
＜資金流入率 上位15ファンド＞（資金流入6ヵ月累計/純資産残高）  
（6ヵ月前残高100億円以上のファンド）



＜資金流出額 下位15ファンド＞（資金流出6ヵ月累計）



＜資金流出率 上位15ファンド＞（資金流出6ヵ月累計/純資産残高）  
（6ヵ月前残高100億円以上のファンド）

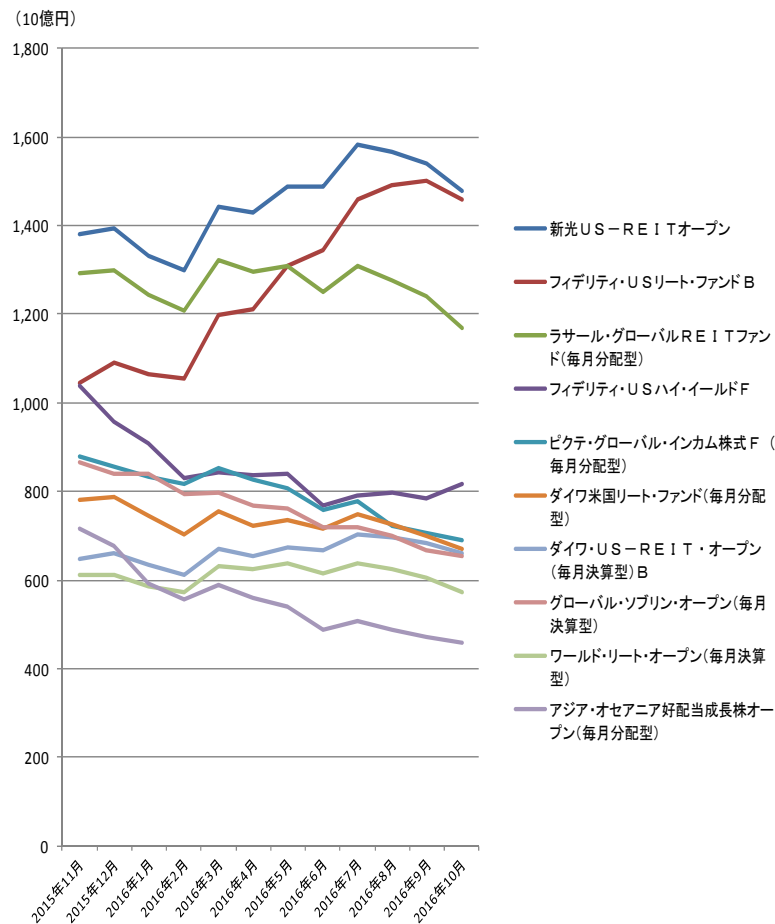




## 💡 長期金利上昇を受け、REIT型等を中心に純資産残高が減少

- 長期金利上昇を受け、純資産残高上位ファンドの大半を占めているREIT型、高配当株式型は軒並み残高が減少した。
- 10月は、国内株式市場の好調、ブラジル株式・ブラジル・レアルの上昇等が顕著であったことから、リターンの1か月では、これらのファンドが多くランクインした。

### <純資産残高 上位10ファンド>



### <リターン(6ヵ月)上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	大分類	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
			1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	エマーシング株式	14.0	<b>24.1</b>	40.7	115	-1	-6
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	エマーシング株式	15.5	<b>22.6</b>	38.8	103	-2	-9
HSBCブラジルオープン	HSBC	エマーシング株式	14.9	<b>22.3</b>	39.9	385	-3	-31
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	エマーシング債券	6.9	<b>22.2</b>	36.3	49	-0	-10
エマーシング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(ブラジルレアル)	日興	ハイイールド債券	6.4	<b>19.7</b>	28.9	278	-8	-84
日興ビムコ・ハイインカム・ソブリンF(毎月)(ブラジルレアル)	日興	エマーシング債券	5.3	<b>19.5</b>	29.8	101	-2	-26
大和住銀日本小型株ファンド	大和住銀	国内株式	6.9	<b>19.4</b>	15.2	97	4	4
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	ハイイールド債券	7.0	<b>19.2</b>	30.8	530	13	73
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)(毎月分配型)	大和	ハイイールド債券	6.5	<b>19.1</b>	30.5	114	-2	-14
米国ハイイールド債券ファンド ブラジルレアル	AM-One	ハイイールド債券	6.8	<b>18.8</b>	27.2	273	16	61
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド(ブラジル・レアル)	AM-One	ハイイールド債券	6.4	<b>18.6</b>	25.5	207	-4	-37
ダイワ米国高金利社債F ブラジル・レアル(毎月分配型)	大和	ハイイールド債券	6.2	<b>18.6</b>	24.1	220	-0	-11
アムンディ・リそな米国ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)	アムンディ	ハイイールド債券	6.2	<b>18.4</b>	23.4	249	1	-16
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	エマーシング債券	5.2	<b>18.1</b>	29.8	864	8	-39
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルレアル)	三井住友	エマーシング債券	5.0	<b>17.8</b>	30.3	543	-6	-106

### <リターン(1ヵ月)上位15ファンド一覧>

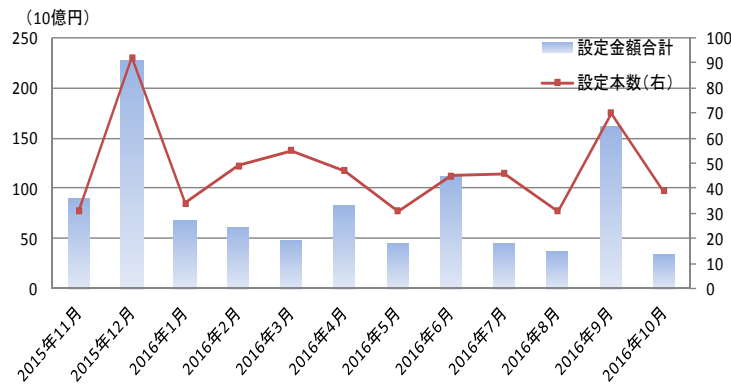
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	大分類	リターン(%)			純資産残高(億円)	資金流入(億円)	
			1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
楽天日本株4.3倍ブル	楽天	その他	<b>27.8</b>	7.4	-57.7	119	-25	7
SBI日本株3.7倍ブル	SBI	その他	<b>23.6</b>	11.0	-47.9	133	-8	-14
楽天日本株トリプルブル	楽天	その他	<b>18.8</b>	11.5	-36.0	205	-8	-22
ブル3倍日本株ポートフォリオIV	大和	その他	<b>18.8</b>	11.6	-36.2	699	-89	-60
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	エマーシング株式	<b>15.5</b>	22.6	38.8	103	-2	-9
《野村ハイパーブル・ベア5》日本ハイパーブル5	野村	その他	<b>15.4</b>	11.5	-28.1	544	-131	-133
HSBCブラジルオープン	HSBC	エマーシング株式	<b>14.9</b>	22.3	39.9	385	-3	-31
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	エマーシング株式	<b>14.0</b>	24.1	40.7	115	-1	-6
シュローダー・ラテンアメリカ株投資	シュローダー	エマーシング株式	<b>12.2</b>	8.7	8.2	74	-1	-5
《日本トレンドS》ハイパー・ウェーブ	日興	その他	<b>12.2</b>	10.9	-19.6	153	-7	-7
新光Wブル・日本株オープンⅢ	AM-One	その他	<b>12.2</b>	10.5	-20.0	246	-49	-56
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソ)毎月分配型	野村	国内株式	<b>12.0</b>	-10.4	-28.3	74	-2	-12
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソ)年2回決算型	野村	国内株式	<b>12.0</b>	-10.4	-28.2	45	0	-4
3つの財布欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)	カレラ	外国株式(先進国)	<b>11.1</b>	-2.5	-20.9	120	3	12
日本株厳選ファンド・ブラジルレアルコース	大和住銀	国内株式	<b>10.2</b>	9.2	1.7	892	15	98

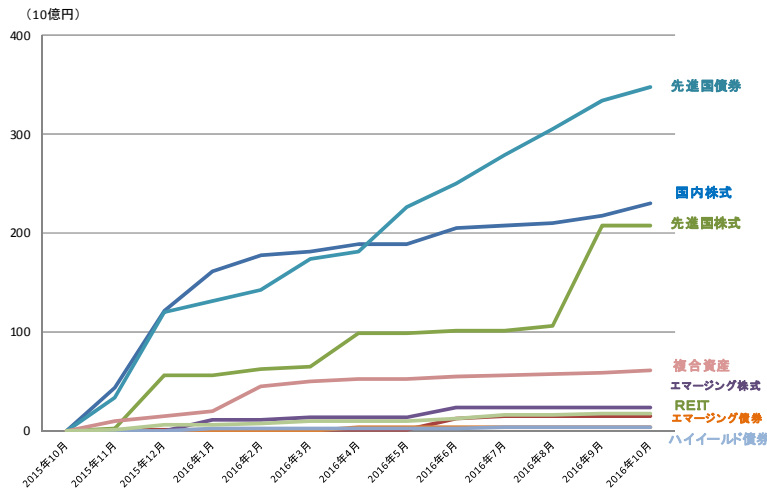
## 💡 グローバルAIファンドへの資金流入が継続

- 10月は新規設定ファンドの本数、金額ともに9月と比べると減少した。
- 10月の新規設定ファンドで、直近6か月純資産額の上位30ファンドにランクインしたのは3本のみ。一方で、9月新規設定ファンドの「グローバルAIファンド」が、引き続き資金を集め、純資産額を順調に伸ばしている。

＜新規設定金額、設定本数の推移＞



＜新規設定(1年間の累積金額)＞



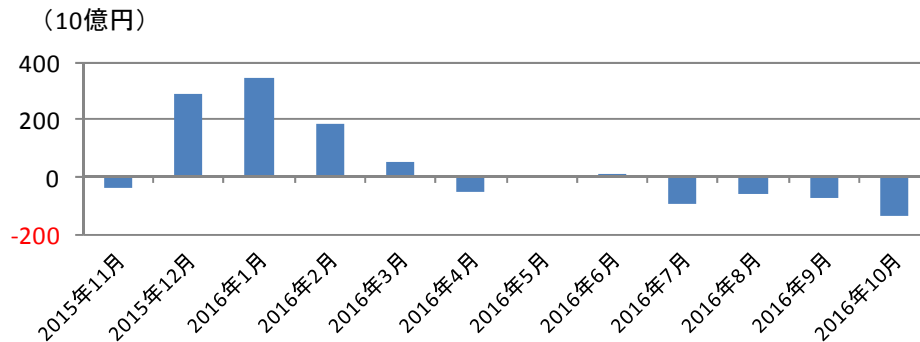
＜直近6か月 新規設定上位30ファンド一覧＞

ファンド名	運用会社	10月末現在純資産額 (億円)	ファンド分類	設定年月	単字型/追加型
グローバルAIファンド	三井住友	1,647	外国株式(先進国)	2016年9月	追加型
マクロ・トータル・リターン・ファンド	三菱UFJ国際	746	その他	2016年6月	追加型
ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジあり)	大和	337	外国株式(先進国)	2016年7月	追加型
先進国ハイブリッド証券(為替ヘッジあり)2016-05	三菱UFJ国際	272	外国債券(先進国)	2016年5月	単字型
ダイワFEグローバル・バリュー(為替ヘッジなし)	大和	263	外国株式(先進国)	2016年7月	追加型
いちよし中小型成長株ファンド	いちよし	240	国内株式	2016年6月	追加型
世界好利回りCB2016-09為替ヘッジあり・限定追加型	三菱UFJ国際	215	その他	2016年9月	追加型
グローバル・ハイクオリティ成長株式F(為替ヘッジなし)	AM-One	160	外国株式(先進国)	2016年9月	追加型
インベスコジャパン成長株・夢ファンド	インベスコ	135	国内株式	2016年6月	追加型
先進国普通社債ファンド(為替ヘッジあり)2016-08	野村	113	外国債券(先進国)	2016年8月	単字型
りそな・ストラテジック・インカムF16-09ヘッジあり	三井住友	111	外国債券(先進国)	2016年9月	単字型
SBI-PIMCOジャパン・ベター・インカム・ファンド	SBI債券	109	国内債券	2016年6月	追加型
BNYメロン・日本株式ダイナミック戦略ファンド	BNYメロン	107	国内株式	2016年10月	追加型
シュローダー・アジアパシフィック・エクセレント・カンパニーズ	シュローダー	103	エマージング株式	2016年6月	追加型
コーポレート・ハイブリッド証券F2016-08(為替ヘッジあり/限定追加型)	大和	101	外国債券(先進国)	2016年8月	追加型
パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券F2016-06ヘッジあり	パインブリッジ	100	外国債券(先進国)	2016年6月	単字型
みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券2016-05(為替ヘッジあり)	大和	98	外国債券(先進国)	2016年5月	追加型
ダイワ高格付日本企業外債F(為替ヘッジあり)2016-06	大和	92	外国債券(先進国)	2016年6月	単字型
GSフォーカス・イールド・ボンド(毎月決算)	G S	74	外国債券(先進国)	2016年6月	追加型
ダイワ高格付日本企業外債F(為替ヘッジあり)2016-08	大和	74	外国債券(先進国)	2016年8月	単字型
BNYメロン・G好利回りCB2016-07(円ヘッジ)(限定追加型)	BNYメロン	65	その他	2016年7月	追加型
ロボット戦略世界分散ファンド	T&Dアセット	64	その他	2016年9月	追加型
線上償還条項付JPX日経400アクティブF米ドル投資型2016-09	ニッセイ	64	国内株式	2016年9月	追加型
GSフォーカス・イールド・ボンド(年2回決算)	G S	62	外国債券(先進国)	2016年6月	追加型
グローバルCBファンド(線上償還条項付/下値目安設定型)	JPモルガン	62	その他	2016年10月	追加型
国際金融機関債F(為替ヘッジあり)プラス2016-07	三菱UFJ国際	61	外国債券(先進国)	2016年7月	単字型
YMアセット・バランスファンド(安定タイプ)	ワイエムAM	61	複合資産	2016年6月	追加型
パインブリッジ金融公益ハイブリッド証券F2016-09ヘッジあり	パインブリッジ	59	外国債券(先進国)	2016年9月	単字型
ダイワ米国投資法人債(為替ヘッジあり)16-07	大和	58	外国債券(先進国)	2016年7月	単字型
みずほハイブリッド証券F2016-10(ヘッジあり)	大和	56	外国債券(先進国)	2016年10月	追加型

## 💡 戻り売りの動きが広がり流出額が拡大

- 円安による株価上昇により、戻り売りの動きが広がり流出額が拡大した。
- 国内株式市場は、2015年12月に日経平均株価が2万円を超える等活況を呈し、投資信託にも多額の資金が流入した。その後はパフォーマンスの悪化傾向もあって、2016年7月以降は4か月連続で資金流出となっている。

### <資金流入金額推移>



### <資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
BNYメロン・日本株式ダイナミック戦略ファンド	BNYメロン	107	107	107	107	-	-
いちよし中小型成長株ファンド	いちよし	31	225	225	240	3.5	-
JPX日経400プラスにいがた・アクティブ	岡三	17	16	3	49	5.0	-3.6
日本好配当株ファンド16-10(限定追加型/繰上償還条項付)	いちよし	16	16	16	16	-	-
インベスコジャパン成長株・夢ファンド	インベスコ	15	138	138	135	1.1	-
日本株厳選ファンド・ブラジルレアルコース	大和住銀	15	98	237	892	10.2	9.2
日本株厳選ファンド・米ドルコース	大和住銀	9	41	156	513	7.8	-5.8
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー(通貨選択型)ブラジルレアル	AM-One	7	47	76	88	6.7	3.7
国際・キャピタル日本株式オープン<ロシアルール>(毎月決算型)	三菱UFJ国際	7	8	8	15	7.5	1.5
国際・キャピタル日本株式オープン<ブラジルレアル>(1年決算型)	三菱UFJ国際	6	6	6	8	7.3	8.6
スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド	スパークス	6	1	3	109	3.6	13.4
セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン	5	32	80	339	0.2	-1.3
大和住銀日本小型株ファンド	大和住銀	4	4	11	97	6.9	19.4
日本優良成長株オープン(米ドル投資型)	岡三	4	12	-1	95	8.3	-1.7
みのりの投資	ポートフォリア	4	20	39	94	5.9	4.6

### <リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
大和住銀日本小型株ファンド	大和住銀	6.9	19.4	15.2	97	4	4
ダイワ日本株ストラテジーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	10.0	17.7	17.7	123	-4	-14
日本株ハイインカム(毎月分配/ブラジルレアル)	アストマックス	9.1	15.5	15.2	276	-5	90
日本株アルファ・カルテット(毎月分配型)	大和住銀	7.8	14.4	6.8	2,081	-11	-122
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)年2回決算型	野村	9.1	14.2	11.5	144	-0	-13
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)毎月分配型	野村	9.1	14.1	11.3	1,176	2	-55
スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド	スパークス	3.6	13.4	17.2	109	6	1
新成長株ファンド	明治安田	3.9	10.8	19.5	103	-3	-1
中小型成長株ファンドーネクストジャパン	SBI	4.1	10.6	19.1	57	0	-2
イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	イーストスプリ	7.8	10.6	-0.3	113	-9	-52
UBS地方銀行株ファンド	UBS	8.6	10.3	-29.5	51	-1	-6
日本株発掘ファンド	大和	5.0	9.8	-0.1	358	-10	-103
ジャパン・エクセレント	大和	5.0	9.8	-0.1	140	-13	-18
コモンズ30ファンド	コモンズ	4.8	9.5	-0.8	84	-0	2
ダイアセレクト日本株オープン	東京海上	7.5	9.4	-10.4	54	-1	-4

### <リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

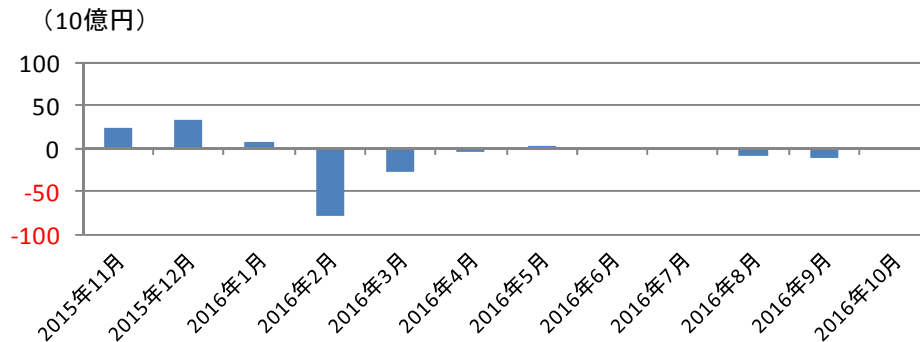
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
野村通貨選択日本株投資(メキシコペソ)毎月分配型	野村	12.0	-10.4	-28.3	74	-2	-12
野村通貨選択日本株投資(メキシコペソ)年2回決算型	野村	12.0	-10.4	-28.2	45	0	-4
日本株厳選ファンド・ブラジルレアルコース	大和住銀	10.2	9.2	1.7	892	15	98
ダイワ日本株ストラテジーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	10.0	17.7	17.7	123	-4	-14
GS日本株・プラス(米ドルコース)	G S	9.9	-2.1	-20.9	50	-3	-18
T&D日本株投資(通貨選択型)米ドルコース	T&Dアセット	9.7	-1.1	-21.0	61	-3	-5
T&D JPX日経400投資(通貨選択型)米ドル	T&Dアセット	9.2	-2.5	-22.6	115	-2	-10
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)年2回決算型	野村	9.1	14.2	11.5	144	-0	-13
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース)毎月分配型	野村	9.1	14.1	11.3	1,176	2	-55
日本株ハイインカム(毎月分配/ブラジルレアル)	アストマックス	9.1	15.5	15.2	276	-5	90
利回り株チャンス米ドル投資(年4回決算型)	大和	9.0	-4.0	-23.4	62	0	-11
野村日本企業価値向上オープン(米ドル投資型)	野村	8.6	-2.0	-21.8	1,074	-13	-108
UBS地方銀行株ファンド	UBS	8.6	10.3	-29.5	51	-1	-6
野村通貨選択日本株投資(米ドル)年2回決算型	野村	8.3	-4.4	-19.8	520	-24	-125
三菱UFJ東京関連オープン(米ドル投資型)	三菱UFJ国際	8.3	-11.6	-24.8	77	-2	-9

## 💡 日銀の金融政策の動向を注視

- 日銀の長短金利操作政策により、長期金利は安定推移したものの、わずかながら資金が流出、パフォーマンスも不調なファンドが多かった。
- マイナス金利導入以降、利回りを確保するため、劣後債や長期債へ投資を行う動きが見られている。こうした資産への投資は、信用リスクや金利上昇リスクが増大する局面では、価格変動が大きくなるため注意が必要。

### <資金流入金額推移>



### <リターン(6ヵ月)上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
スター劣後債ファンド12-09(5年早期償還条項付)	SBI	0.7	1.7	3.4	77	-0	-0
大和・日本物価連動国債ファンド	大和	-0.0	0.2	-1.9	158	-4	-35
MHAM物価連動国債ファンド	AM-One	-0.1	0.1	-1.9	441	-9	-70
ニッセイ日本インカムオープン	ニッセイ	-0.2	0.1	1.0	884	-7	-79
ニッセイ日本債券ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	-0.2	0.1	1.0	134	-2	-29
DLIBJ・公社債オープン(短期コース)	AM-One	-0.1	0.1	0.5	198	-7	-19
ジャパン・ソブリン・オープン(資産成長型)	三菱UFJ国際	-0.3	-0.2	1.2	32	0	-20
ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	大和	-0.2	-0.2	2.6	3,763	-4	-321
ジャパン・ソブリン・オープン	三菱UFJ国際	-0.3	-0.2	1.2	385	-7	-101
三菱UFJ日本国債ファンド(毎月決算型)	三菱UFJ国際	-0.2	-0.2	5.4	160	-1	50
しんきん公共債ファンド	しんきん	-0.1	-0.2	1.7	105	2	18
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	-0.2	-0.2	2.6	113	4	3
バインブリッジ日本住宅金融支援機構債ファンド	バインブリッジ	-0.2	-0.3	2.5	150	-4	13
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	0.3	-0.4	1.1	114	2	19
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	-0.3	-0.4	6.1	105	5	14

### <資金流出(1ヵ月)上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ダイワ住宅金融支援機構債ファンド-Mr.フラット	大和	21	50	57	57	-0.3	-0.1
ダイワ日本国債15-20年ラダー型	大和	7	25	54	54	-0.2	-0.8
三井住友・日本債券インデックスF	三井住友	7	51	97	536	-0.3	-0.5
エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀	5	14	34	105	-0.3	-0.4
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	4	3	31	113	-0.2	-0.2
Sストリート日本債券インデックス	Sストリート	3	8	8	8	-0.3	-
インデックスコレクション(国内債券)	三井住友トラスト	2	15	87	178	-0.3	-0.5
日本超長期国債ファンド	三井住友	2	3	8	24	-0.1	-0.5
DIAM国内債券ハッシュ・ファンド	AM-One	2	4	-1	136	-0.3	-0.7
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	2	19	23	114	0.3	-0.4
しんきん公共債ファンド	しんきん	2	18	13	105	-0.1	-0.2
日本債券ファンド	AM-One	2	7	9	22	-0.3	-0.8
東京海上セレクトシ・日本債券	東京海上	1	13	20	148	-0.3	-0.7
三菱UFJ国内債券インデックスファンド	三菱UFJ国際	1	4	4	33	-0.3	-0.7
ダイワ投信倶楽部日本債券インデックス	大和	1	4	9	92	-0.3	-0.7

### <リターン(1ヵ月)上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

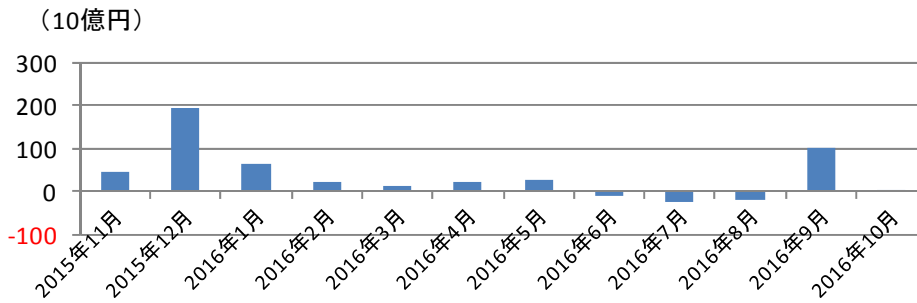
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
スター劣後債ファンド12-09(5年早期償還条項付)	SBI	0.7	1.7	3.4	77	-0	-0
みずほ日本債券アドバンス(豪ドル債券型)	AM-One	0.3	-0.4	1.1	114	2	19
大和・日本物価連動国債ファンド	大和	-0.0	0.2	-1.9	158	-4	-35
MHAM物価連動国債ファンド	AM-One	-0.1	0.1	-1.9	441	-9	-70
ニッセイ国内債券アルファ	ニッセイ	-0.1	-0.7	-	296	-12	79
しんきん公共債ファンド	しんきん	-0.1	-0.2	1.7	105	2	18
DLIBJ・公社債オープン(短期コース)	AM-One	-0.1	0.1	0.5	198	-7	-19
バインブリッジ日本住宅金融支援機構債ファンド	バインブリッジ	-0.2	-0.3	2.5	150	-4	13
ニッセイ日本債券ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	-0.2	0.1	1.0	134	-2	-29
ニッセイ日本インカムオープン	ニッセイ	-0.2	0.1	1.0	884	-7	-79
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	東京海上	-0.2	-0.6	4.0	563	-9	-80
東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	東京海上	-0.2	-0.6	4.0	70	0	15
ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	大和	-0.2	-0.2	2.6	3,763	-4	-321
三菱UFJ日本国債ファンド(毎月決算型)	三菱UFJ国際	-0.2	-0.2	5.4	160	-1	50
ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型)	大和	-0.2	-0.2	2.6	113	4	3



## 豪州高配当株式への流入が突出

- わずかながら資金が流入。しかし、分類別によれば、オーストラリアの高配当株式等への流入が突出しており、北米、欧州等の株式からは資金が流出した。
- 1か月リターンで、1位となった「3つの財布欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)」「(カレラアセットマネジメント)は、株式及び通貨のカバードコール戦略を用いるファンド。円安が進行したことや、ドイツ銀行の信用不安後退等で銀行株が上昇したことがプラスに寄与した。

### <資金流入金額推移>



### <資金流出(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
グローバルAIファンド	三井住友	339	1,631	1,631	1,647	0.3	-
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)	L M	308	1,786	1,987	2,028	-1.0	-2.6
ダイワFEグローバル・バリュ (為替ヘッジあり)	大和	112	339	339	337	-1.2	-
グローバル・ハイクオリティ成長株式F(為替ヘッジなし)	AM-One	89	158	158	160	2.8	-
ダイワFEグローバル・バリュ (為替ヘッジなし)	大和	85	259	259	263	2.4	-
ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	ニッセイ	35	264	624	568	3.4	-2.2
ニッセイアメリカ高配当株式(毎月決算型)	ニッセイ	28	188	225	353	0.8	-1.9
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	ニッセイ	25	106	142	276	-0.9	-2.5
キャピタル世界株式ファンド	キャピタル	24	120	159	185	1.0	-4.1
ニッセイオーストラリア高配当株式(毎月決算型)	ニッセイ	23	321	484	1,666	-1.0	-2.5
GS・ネットウイン B	G S	21	68	168	319	4.4	7.3
グローバル・ハイクオリティ成長株式F(限定為替ヘッジ)	AM-One	19	39	39	39	-0.2	-
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン B	野村	18	26	32	104	-5.7	-12.1
LM・オーストラリア高配当株式(年2回決算)	L M	18	120	125	131	-1.0	-2.6
GS・ネットウイン A	G S	16	66	72	116	0.5	11.7

### <リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ダイワノミリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配)(ブラジル・レアル)	大和	6.2	13.7	16.5	72	-3	-25
野村ドイチェ高配当インフラ関連株投資(BRレアル)毎月	野村	2.6	13.5	21.6	462	7	-28
世界インフラ関連好配当株式 通貨選択型F(ブラジルレアル)	三井住友トラスト	3.8	12.4	22.1	115	-0	-30
ダイワノミリア・Gグレートコンシューマー株式FII(BRレアル)(毎月分配)	大和	3.4	12.0	10.8	43	-2	-17
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	4.8	11.2	22.5	640	5	98
資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	4.8	11.2	22.3	312	-7	-65
ダイワ米国株ストラテジーα<ブラジル・レアル>(毎月分配型)	大和	3.6	10.0	17.9	1,076	-38	-232
MLP関連証券ファンド(為替ヘッジなし)	三井住友トラスト	0.7	8.1	-11.0	182	-3	-18
ブラックロック・ゴールドメタル A	ブラックロック	-8.1	8.0	51.6	269	11	229
米国エネルギー・MLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	三菱UFJ国際	-2.4	7.9	-5.7	84	1	13
GS・ネットウイン B	G S	4.4	7.3	-7.4	319	21	68
野村クラウド&スマートグリッド関連株投資B	野村	2.1	6.6	-9.0	59	-1	-7
USテクノロジー・イノベーションズ・ファンド	三井住友	3.7	6.6	-	233	-12	73
グローバル・スマート・イノベーション(年2回決算型)	三菱UFJ国際	3.7	6.3	-	63	-4	-19
フィデリティ・日本・アジア成長株投資	フィデリティ	4.1	6.3	-1.2	67	-1	-2

### <リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

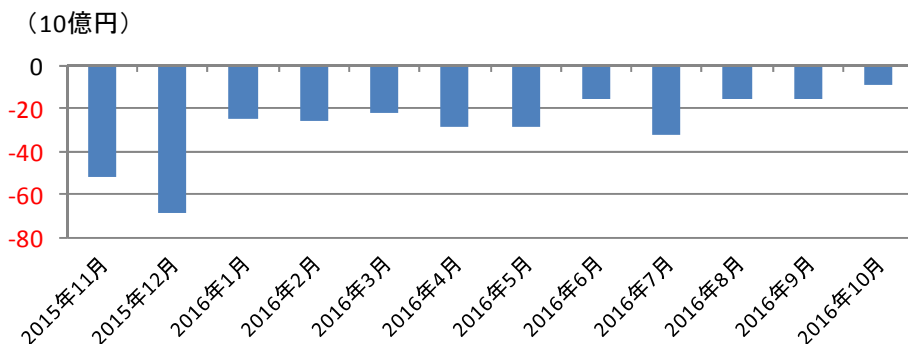
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
3つの財布欧州銀行株式ファンド(毎月分配型)	カレラ	11.1	-2.5	-20.9	120	3	12
3つの財布米国銀行株式ファンド(毎月分配型)	カレラ	8.0	3.7	-6.8	74	1	4
ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	朝日ライフ	6.6	1.5	-10.7	81	-0	-1
ダイワノミリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配)(ブラジル・レアル)	大和	6.2	13.7	16.5	72	-3	-25
資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル	日興	4.8	11.2	22.3	312	-7	-65
資源株ファンド<ブラジルレアル>(毎月分配型)	日興	4.8	11.2	22.5	640	5	98
ダイワノミリア世界厳選株ファンド	大和	4.8	-3.2	-17.5	105	-2	-11
朝日Nvestグローバルバリュ株	朝日ライフ	4.8	-3.3	-17.0	409	-2	2
GS・ネットウイン B	G S	4.4	7.3	-7.4	319	21	68
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクト)年2回決算	野村	4.2	-0.1	-7.1	142	-5	-29
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクト)毎月分配	野村	4.2	-0.1	-7.0	2,107	-92	-292
ダイワノフィデリティ北米株式ファンド	大和	4.2	-2.9	-9.1	134	-6	-26
しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	しんきん	4.2	-2.9	-14.9	60	1	5
フィデリティ・日本・アジア成長株投資	フィデリティ	4.1	6.3	-1.2	67	-1	-2
JPM世界鉄道関連株投資	JPMモルガン	4.0	-2.2	-10.9	68	-1	-13

## 💡 ブラジル株式が急騰

- 10月は「野村インド株投資」に155億円の流入があり、エマージング株式ファンドの中で突出。
- リターンでは、ブラジル株式が10月単月で10%を超える上昇、中央銀行が政策金利を引き下げ、景気の底打ち期待が再び強まったことが要因。その結果、過去6か月、過去1か月のリターン上位は、ブラジル株式ファンドが独占。
- 一方、リターン下位は、過去6か月ではトルコ、中東。過去1か月では政治絡みで韓国、アジア関連。

### <資金流入金額推移>



### <リターン(6か月)上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	14.0	<b>24.1</b>	40.7	115	-1	-6
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	15.5	<b>22.6</b>	38.8	103	-2	-9
HSBCブラジルオープン	HSBC	14.9	<b>22.3</b>	39.9	385	-3	-31
高成長インド・中型株式ファンド	三井住友	7.1	<b>15.6</b>	3.3	313	-33	-233
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	8.7	<b>15.4</b>	31.3	112	8	-25
CAMベトナムファンド	CAM	0.3	<b>13.3</b>	5.1	63	-1	-4
HSBC BRICsオープン	HSBC	5.9	<b>13.3</b>	10.9	94	-1	-4
HSBC新BRICsファンド	HSBC	5.9	<b>13.0</b>	10.2	66	-0	-2
(ノムラ・アジアS)ノムラ・印度・フォーカス	野村	6.6	<b>12.8</b>	-3.0	142	14	40
T&Dインド中小型株ファンド	T&Dアセット	6.7	<b>12.1</b>	-2.6	87	-25	-8
シュローダーBRICs株式ファンド	シュローダー	3.0	<b>9.0</b>	-3.0	126	-0	-2
HSBCロシアオープン	HSBC	4.6	<b>8.9</b>	7.6	73	-0	-4
シュローダー・ラテンアメリカ株投資	シュローダー	12.2	<b>8.7</b>	8.2	74	-1	-5
SBIインド&ベトナム株ファンド	SBI	5.4	<b>8.0</b>	-2.5	89	-0	-1
ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和	4.7	<b>7.9</b>	-7.9	169	16	21

### <資金流出入(1か月)上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
野村インド株投資	野村	155	827	795	1,702	4.9	7.2
中華圏株式ファンド(毎月分配型)	日興	21	87	140	142	2.2	0.4
ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和	16	21	16	169	4.7	7.9
(ノムラ・アジアS)ノムラ・印度・フォーカス	野村	14	40	22	142	6.6	12.8
三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	三井住友	8	2	-6	161	2.0	3.2
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	8	-25	-24	112	8.7	15.4
イーストスプリング・インド消費関連ファンド	イーストスプリ	8	35	35	85	6.5	10.9
(ノムラ・アジアS)ノムラ・インドネシア・フォーカス	野村	8	22	23	49	2.7	9.2
ドイチェ・ロシア東欧株式ファンド	ドイチェ	7	16	15	76	4.4	1.3
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	イーストスプリ	5	-6	-49	155	0.8	7.3
DIAM VIPフォーカス・ファンド	AM-One	2	-0	-5	69	-0.1	3.1
新興国連続増配成長株オープン	岡三	2	-2	-23	37	0.9	-0.7
eMAXIS新興国株式インデックス	三菱UFJ国際	2	4	23	252	2.6	3.1
インド株式集中投資ファンド	損保日本興亜	1	1	3	4	5.9	8.1
チャイナ・リサーチ・オープン	三井住友トラスト	1	1	1	12	1.5	3.0

### <リターン(1か月)上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

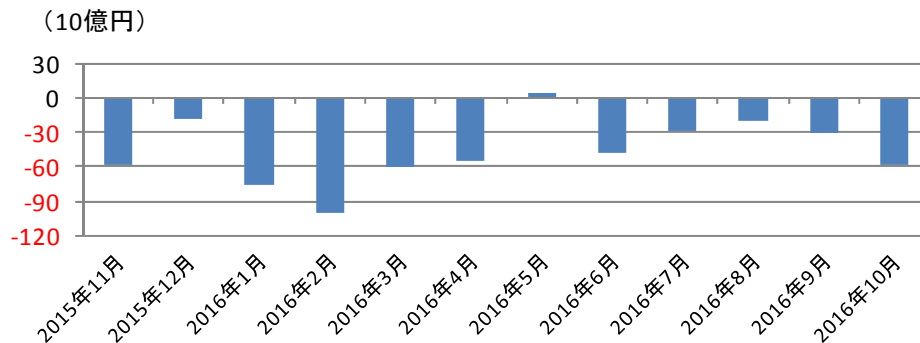
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1か月	6か月	1年		1か月	6か月
ダイワ・ブラジル株式オープン	大和	15.5	22.6	38.8	103	-2	-9
HSBCブラジルオープン	HSBC	14.9	22.3	39.9	385	-3	-31
BNPパリバ・ブラジル・ファンド(株式型)	BNPパリバ	14.0	24.1	40.7	115	-1	-6
シュローダー・ラテンアメリカ株投資	シュローダー	12.2	8.7	8.2	74	-1	-5
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト	8.7	15.4	31.3	112	8	-25
高成長インド・中型株式ファンド	三井住友	7.1	15.6	3.3	313	-33	-233
T&Dインド中小型株ファンド	T&Dアセット	6.7	12.1	-2.6	87	-25	-8
HSBCインドオープン	HSBC	6.6	7.8	-10.4	559	-1	-4
(ノムラ・アジアS)ノムラ・印度・フォーカス	野村	6.6	12.8	-3.0	142	14	40
イーストスプリング・インド株式オープン(3か月決算型)	イーストスプリ	6.2	6.6	-9.1	122	-3	-17
イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリ	6.2	6.5	-9.4	815	-3	-2
HSBC新BRICsファンド	HSBC	5.9	13.0	10.2	66	-0	-2
HSBC BRICsオープン	HSBC	5.9	13.3	10.9	94	-1	-4
SBIインド&ベトナム株ファンド	SBI	5.4	8.0	-2.5	89	-0	-1
日興BRICs株式ファンド	日興	5.4	6.0	-1.0	105	-2	-9



## 💡 通貨選択型(ブラジル・リアル)が上昇

- 為替ヘッジ付きの社債ファンド等への資金流入が継続する一方で、10月の円安進行により為替ヘッジなしファンドのパフォーマンスが改善したことが、投資家の売りを誘い、多額の資金が流出した。
- ブラジル経済の底打ちに伴う通貨高で、通貨選択型(ブラジル・リアル)のパフォーマンスが良好だった。

### ＜資金流入金額推移＞



### ＜リターン(6ヵ月)上位15ファンド一覧＞

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券F<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	東京海上	5.6	14.3	24.0	89	-4	-8
新光・ハイブリッド証券ファンド(ブラジル・リアル)	AM-One	5.2	14.2	22.8	142	-2	-10
UBS世界公共インフラ債券投信 ブラジル・リアル(毎月分配型)	UBS	4.5	13.9	25.0	211	-2	-8
三菱UFJ米国バンクロンF<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	6.3	13.8	21.8	65	1	-0
SMBC世界優先証券ファンド201411	大和住銀	1.0	6.9	2.2	173	-6	-55
ワールド優先証券F201412(限定追加型)ヘッジあり	大和住銀	0.6	6.3	2.6	70	-2	-13
世界優先証券ファンド201411(ヘッジあり)	大和住銀	0.8	6.3	1.0	70	-1	-21
世界優先証券ファンド201407(限定追加型)ヘッジあり	大和住銀	0.6	6.1	1.9	238	-10	-99
「常陽」世界優先証券ファンド201411(ヘッジあり)	大和住銀	0.4	5.4	1.3	42	-1	-12
ニッセイ世界ハイブリッド証券戦略F(毎月決算型・為替ヘッジあり)	ニッセイ	1.1	5.1	2.3	70	0	-1
世界優先証券ファンド201406(限定追加型)ヘッジあり	大和住銀	1.3	5.1	1.7	45	-2	-12
世界優先証券ファンド201504(ヘッジあり)	大和住銀	0.2	4.7	2.8	87	-1	-26
世界優先証券ファンド201403(限定追加型)ヘッジあり	大和住銀	0.2	4.6	1.0	95	-5	-55
世界優先証券ファンド201501(ヘッジあり)	大和住銀	0.7	4.6	1.8	53	-1	-19
SMBC世界優先証券ファンド201504	大和住銀	0.3	4.6	3.2	224	-9	-53

### ＜資金流出(1ヵ月)上位15ファンド一覧＞

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
東京海上・ニッポン世界債券F(為替ヘッジあり)	東京海上	78	645	652	1,514	-0.7	0.9
UBS世界公共インフラ債券投信 円(毎月分配型)	UBS	71	569	639	2,656	-1.7	1.8
みずほハイブリッド証券F2016-10(ヘッジあり)	大和	56	56	56	56	-	-
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドA	野村	36	179	184	186	0.5	3.2
BAMワールド・ボンド&カレンシーF(毎月決算)	ベアリング	35	210	257	1,075	-2.3	0.2
ダイワ世界有力企業外債(為替ヘッジあり)16-10	大和	34	34	34	34	-	-
コーポレート・ボンド・インカム(為替ノーヘッジ型)	三井住友	33	219	255	298	2.2	-3.9
ダイワ米国投資法人債(為替ヘッジあり)16-10	大和	30	30	30	30	-	-
GSフォーカス・スイールド・ボンド(毎月決算)	G S	26	74	74	74	-0.2	-
三菱UFJヘッジ付外国債券オープン	三菱UFJ国際	21	35	148	227	-2.4	1.4
野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドC	野村	21	135	136	137	0.5	3.1
コーポレート・ボンド・インカム(為替ヘッジ型)	三井住友	17	180	166	325	-1.5	-0.5
GSフォーカス・スイールド・ボンド(年2回決算)	G S	15	62	62	62	-0.2	-
米国地方債ファンド為替ヘッジあり(年2回決算型)	三井住友トラスト	14	23	23	22	-1.7	1.0
DWSグローバル公益債券ファンドA(毎月分配型)	ドイチェ	13	-12	-144	1,073	-1.5	3.1

### ＜リターン(1ヵ月)上位15ファンド一覧＞

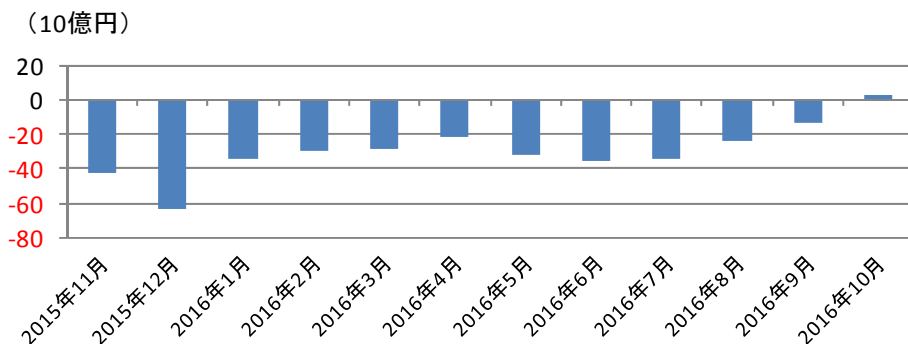
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
野村テンプレート・トータル・リターンB	野村	9.9	-3.1	-12.4	535	-10	-67
野村テンプレート・トータル・リターンD	野村	9.9	-3.3	-12.4	3,082	-41	-249
テンプレート世界債券ファンド(為替ヘッジなし)	フランクリン	7.7	-6.3	-14.7	66	-2	-4
三菱UFJ米国バンクロンF<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	6.3	13.8	21.8	65	1	-0
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券F<ブラジル・リアル>(毎月分配型)	東京海上	5.6	14.3	24.0	89	-4	-8
野村テンプレート・トータル・リターンA	野村	5.2	1.9	-0.5	56	-3	-9
新光・ハイブリッド証券ファンド(ブラジル・リアル)	AM-One	5.2	14.2	22.8	142	-2	-10
野村グローバルボンド投信F	野村	5.0	2.2	-3.0	111	-1	-11
UBS世界公共インフラ債券投信 ブラジル・リアル(毎月分配型)	UBS	4.5	13.9	25.0	211	-2	-8
バンクロン・ファンド(ヘッジなし)	AM-One	4.5	-0.5	-8.5	90	-0	-7
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムF(為替ヘッジなし/3ヵ月決算型)	三井住友	4.4	-1.2	-7.7	92	-7	-53
野村グローバルボンド投信B	野村	4.3	-0.8	-8.7	82	-2	-14
野村グローバルボンド投信D	野村	4.3	-0.9	-8.7	91	-3	-15
GS債券戦略ファンドB(毎月決算型・為替ヘッジなし)	G S	4.3	-2.7	-13.1	352	-6	-53
GS債券戦略ファンドD(年2回決算型・為替ヘッジなし)	G S	4.3	-2.7	-13.2	51	-1	-11

## 💡 ブラジル債がリターン上位を独占

- エマージング債券の資金流出入は、新興国市場の回復から2015年2月以来20ヵ月ぶりに流入へ転換。
- 過去6ヵ月のリターン上位は、対円でのブラジル・リアル高と10月の政策金利引き下げを反映し、ブラジル債、ブラジル・リアル連動債が上位独占。
- 過去1ヵ月のリターン上位も、ブラジル・リアル、メキシコ・ペソ関連債券。下位は米ドル建て債券や円ヘッジ債券。

### <資金流出入金額推移>



### <資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)	UBS	36	159	190	347	6.4	11.4
メキシコ債券オープン(毎月分配型)	大和住銀	34	48	15	330	6.2	-13.3
野村インド債券ファンド(毎月分配型)	野村	33	186	344	834	4.0	0.3
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン B	三菱UFJ国際	27	64	44	227	-1.2	5.3
アジア社債ファンドA(為替ヘッジあり)	日興	26	161	166	185	-0.4	2.4
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(毎月決算型)	イーストスプリ	23	40	67	276	4.3	1.4
アジア社債ファンドB(為替ヘッジなし)	日興	22	152	204	415	3.3	-2.3
メキシコ債券オープン(資産成長型)	大和住銀	13	16	15	23	6.1	-13.3
野村エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	T&Dアセット	13	18	11	341	5.2	17.6
ニッセイ・インド債券オープン(毎月決算型)	ニッセイ	9	5	25	26	4.4	-0.1
UBSブラジル・リアル債券投信(年2回決算型)	UBS	8	50	65	144	6.4	11.6
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	8	-39	-116	864	5.2	18.1
イーストスプリング・インド公益インフラ債券F(年2回決算型)	イーストスプリ	7	24	34	107	4.3	1.3
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	5	-24	-36	350	6.8	13.8
新光ブラジル債券ファンド	AM-One	5	-25	10	559	6.1	11.5

### <リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	6.9	22.2	36.3	49	-0	-10
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリンF毎月(ブラジルリアル)	日興	5.3	19.5	29.8	101	-2	-26
三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	5.2	18.1	29.8	864	8	-39
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)	三井住友	5.0	17.8	30.3	543	-6	-106
野村エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	T&Dアセット	5.2	17.6	28.3	341	13	18
(通貨選択EBF)ブラジルリアルコース(毎月分配型)	大和住銀	5.3	16.8	28.5	634	-5	-59
DIAM新興国ソブリンオープン<ブラジルリアル>	AM-One	3.5	16.0	26.7	260	-3	-37
野村新エマージング債券投信(ブラジルリアル)毎月分配型	野村	4.6	15.7	26.5	173	-2	-14
DWSブラジル・リアル債券ファンド(毎月分配型)	ドイツェ	6.6	15.4	33.0	123	-4	-17
新興国公社債オープン ブラジル・リアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	5.4	14.8	25.8	58	-1	-8
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	6.8	13.8	31.3	350	5	-24
LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配)	L M	7.1	13.7	22.9	537	-4	-43
ブラデスコブラジル債券ファンド(分配重視型)	三菱UFJ国際	6.7	13.3	27.8	95	1	-4
ダイワ・ブラジル・リアル債券オープン(毎月分配型)	大和	6.5	13.2	24.0	544	-8	-53
ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	大和	6.6	13.2	24.0	1,339	-36	-279

### <リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

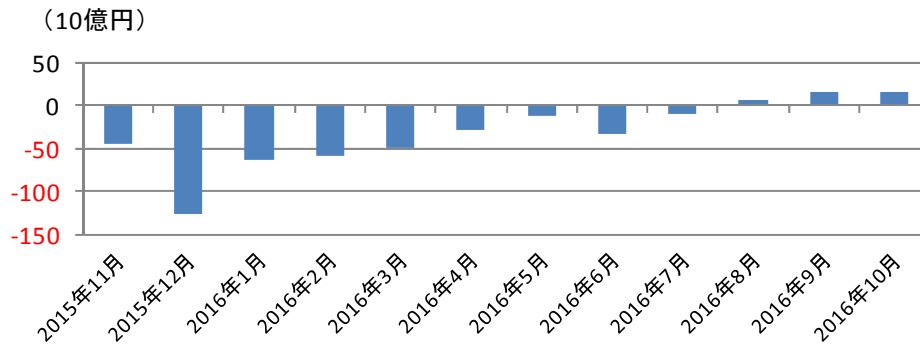
※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配)	L M	7.1	13.7	22.9	537	-4	-43
ブラジル公社債ファンド	三井住友トラスト	6.9	22.2	36.3	49	-0	-10
HSBCブラジル債券オープン(毎月決算)	HSBC	6.8	13.8	31.3	350	5	-24
ブラデスコブラジル債券ファンド(分配重視型)	三菱UFJ国際	6.7	13.3	27.8	95	1	-4
PIMCOニューワールドインカムF<メキシコペソ>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	6.7	-5.0	-12.9	132	-4	-23
DWSブラジル・リアル債券ファンド(毎月分配型)	ドイツェ	6.6	15.4	33.0	123	-4	-17
ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	大和	6.6	13.2	24.0	1,339	-36	-279
ダイワ・ブラジル・リアル債券オープン(毎月分配型)	大和	6.5	13.2	24.0	544	-8	-53
りそなブラジル・ソブリン・ファンド(毎月決算型)	大和	6.5	13.1	23.9	114	0	-10
野村エマージング債券投信(メキシコペソ)毎月分配型	T&Dアセット	6.5	-4.1	-12.8	57	2	-6
UBSブラジル・リアル債券投信(年2回決算型)	UBS	6.4	11.6	25.5	144	8	50
UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)	UBS	6.4	11.4	25.5	347	36	159
メキシコ債券オープン(毎月分配型)	大和住銀	6.2	-13.3	-22.7	330	34	48
新光ブラジル債券ファンド	AM-One	6.1	11.5	19.1	559	5	-25
新興国公社債オープン ブラジル・リアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	5.4	14.8	25.8	58	-1	-8

## 💡 為替ヘッジなしファンドに資金流入

- ハイイールド債券ファンドは3か月連続で資金流入。ヘッジなしが純流入、他通貨連動(通貨選択型)は純流出。ただし、ブラジル・レアルは純流入。
- 過去6か月のリターン上位は、ブラジルレアル・ヘッジが独占、下位はメキシコペソ・ヘッジ、トルコリラ・ヘッジ。
- 過去1か月のリターン上位は、メキシコペソ・ヘッジ、ブラジルレアル・ヘッジ、下位は円安の影響で円・ヘッジ。

### <資金流出入金額推移>



### <資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
フィデリティ・USハイ・イールドF	フィデリティ	168	549	114	8,175	3.9	1.8
ミュージニッチ米国BDCファンド(毎月分配型)	日興	94	208	207	343	3.2	2.6
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	77	418	432	1,390	6.7	17.2
フィデリティ・グローバル・ハイ・イールドF(毎月決算型)	フィデリティ	72	279	506	1,496	3.3	0.6
みずほUSハイ・イールドオープン B	AM-One	32	139	188	898	4.3	2.8
ミュージニッチ米国BDCファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)	日興	21	50	49	73	-0.6	6.2
米国ハイ・イールド債券ファンドブラジルレアル	AM-One	16	61	53	273	6.8	18.8
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	13	73	33	530	7.0	19.2
野村米国ハイ・イールド債券投信(円)毎月分配型	野村	12	271	316	472	1.0	6.2
アジアハイ・イールド・プラス(為替ヘッジなし)	岡三	9	56	49	284	3.4	-0.7
米国短期ハイ・イールド債券オープン	岡三	8	28	18	101	3.5	-2.5
野村PIMCO米国ハイ・イールド債券投信(BRレアル)毎月	野村	7	32	24	126	6.1	16.3
ミュージニッチ米国BDCファンド(年2回決算型)	日興	6	17	7	102	3.2	2.6
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドル)毎月分配型	野村	6	41	32	180	4.5	1.6
米国ハイ・イールド債オープン ブラジル・レアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	6	8	1	72	6.2	15.9

### <リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
エマーシング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(ブラジルレアル)	日興	6.4	19.7	28.9	278	-8	-84
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	7.0	19.2	30.8	530	13	73
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)(毎月分配型)	大和	6.5	19.1	30.5	114	-2	-14
米国ハイ・イールド債券ファンドブラジルレアル	AM-One	6.8	18.8	27.2	273	16	61
新光グローバル・ハイ・イールド債券ファンド(ブラジル・レアル)	AM-One	6.4	18.6	25.5	207	-4	-37
ダイワ米国高金利社債Fブラジル・レアル(毎月分配型)	大和	6.2	18.6	24.1	220	-0	-11
アムンディ・リソナ米国ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)	アムンディ	6.2	18.4	23.4	249	1	-16
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	6.7	17.2	25.4	1,390	77	418
リソナアジア・ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)	損保日本興亜	6.1	16.6	27.7	78	-1	-9
PIMCO米国ハイ・イールド債券通貨選択型F(ブラジル・レアル)	三井住友トラスト	6.2	16.4	24.5	608	-22	-152
三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルレアルファンド	三井住友	6.2	16.4	24.1	154	-3	-22
野村PIMCO米国ハイ・イールド債券投信(BRレアル)毎月	野村	6.1	16.3	24.2	126	7	32
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	6.7	16.1	23.5	317	-3	-14
米国ハイ・イールド債オープン ブラジル・レアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	6.2	15.9	20.4	72	6	8
DWS欧州ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)(毎月分配型)	ドイツェ	7.1	14.6	26.5	772	-19	-98

### <リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

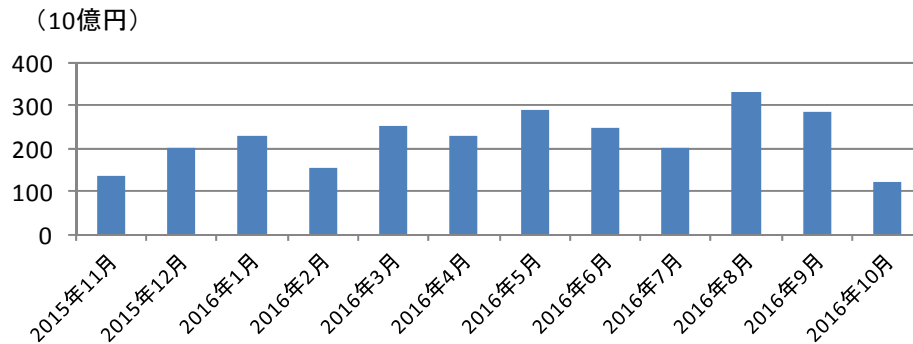
※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
野村PIMCO米国ハイ・イールド債券投信(MXペソ)毎月	野村	7.0	-5.8	-15.9	80	1	-8
DWS欧州ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)(毎月分配型)	ドイツェ	7.1	14.6	26.5	772	-19	-98
三菱UFJ新興国高利回り社債F<ブラジルレアル>(毎月分配型)	三菱UFJ国際	7.0	19.2	30.8	530	13	73
米国ハイ・イールド債券ファンドブラジルレアル	AM-One	6.8	18.8	27.2	273	16	61
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	6.7	16.1	23.5	317	-3	-14
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型	野村	6.7	17.2	25.4	1,390	77	418
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)	アムンディ	6.5	14.4	23.1	648	-11	-73
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)(毎月分配型)	大和	6.5	19.1	30.5	114	-2	-14
新光グローバル・ハイ・イールド債券ファンド(ブラジル・レアル)	AM-One	6.4	18.6	25.5	207	-4	-37
エマーシング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(ブラジルレアル)	日興	6.4	19.7	28.9	278	-8	-84
米国ハイ・イールド債オープン ブラジル・レアル(毎月決算型)	三菱UFJ国際	6.2	15.9	20.4	72	6	8
三井住友・米国ハイ・イールド債券・ブラジルレアルファンド	三井住友	6.2	16.4	24.1	154	-3	-22
アムンディ・リソナ米国ハイ・イールド債券F(ブラジルレアル)	アムンディ	6.2	18.4	23.4	249	1	-16
PIMCO米国ハイ・イールド債券通貨選択型F(ブラジル・レアル)	三井住友トラスト	6.2	16.4	24.5	608	-22	-152
ダイワ米国高金利社債Fブラジル・レアル(毎月分配型)	大和	6.2	18.6	24.1	220	-0	-11

💡 国内は資金流出、米国は資金流入継続

- 10月の国内REITは7か月ぶりに資金流出。米国の利上げ観測の高まりや世界的な長期金利上昇の流れから、リターンはマイナスとなった。
- 引き続き、米国REITは資金流入、欧州REITは資金流出が継続。
- 直近6か月、1か月のリターンは、外貨建てREITが上位に。

<資金流出入金額推移>



<資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6か月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流出入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
フィデリティ・USリート・ファンドB	フィデリティ	529	5,046	8,634	14,577	-4.1	-5.2
新光US-REITオープン	AM-One	255	3,288	6,049	14,771	-3.6	-5.8
ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型)B	大和	159	1,169	2,303	6,608	-3.7	-5.6
GS米国REITファンドB (毎月分配型・為替ヘッジなし)	G S	127	960	1,928	3,145	-4.4	-4.3
ダイワ米国リート・ファンド (毎月分配型)	大和	119	749	1,484	6,712	-3.7	-5.6
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型)ブラジルレアル	AM-One	108	462	461	494	3.5	1.6
ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	日興	85	1,418	3,376	11,673	-4.6	-9.6
ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	大和	46	497	584	2,134	-2.1	-5.9
しんきんJリートオープン (毎月決算型)	しんきん	41	349	533	2,398	-2.3	-6.6
ニッセイ・オーストラリアリート・オープン (毎月決算型)	ニッセイ	40	248	273	310	-5.2	-7.7
ワールド・リート・オープン (毎月決算型)	三菱UFJ国際	37	658	1,688	5,722	-4.1	-7.1
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型)米ドル	AM-One	30	144	173	200	1.3	-12.7
オーストラリアREIT・リサーチ・オープン (毎月決算型)	三井住友トラスト	30	271	351	328	-5.1	-8.5
通貨選択型米国リート・αクワトロ (毎月分配)	大和	30	82	91	141	-1.0	9.1
国際アジア・リートF<インドルビー> (毎月決算型)	三菱UFJ国際	28	78	90	147	0.9	2.9

<リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
通貨選択型米国リート・αクワトロ (毎月分配)	大和	-1.0	9.1	19.8	141	30	82
グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド (毎月分配型)	SBI	-1.7	7.6	12.6	237	8	32
ドイチェ・グローバルREIT投信 (ブラジルレアル) (毎月分配型)	ドイチェ	-0.1	7.0	16.8	225	-1	-9
野村北米REIT投信 (ブラジルレアルコース) 毎月分配型	野村	-0.3	6.4	17.5	84	-0	-0
国際アジア・リートF<インドルビー> (毎月決算型)	三菱UFJ国際	0.9	2.9	-2.6	147	28	78
東京海上J-REIT投信 (ブラジルレアル)年2回決算型	東京海上	3.3	2.8	23.3	53	-3	-6
東京海上J-REIT投信 (ブラジルレアル) 毎月分配型	東京海上	3.2	2.8	23.2	591	-20	-63
楽天USリート・トリプルエンジン (リアル) 毎月分配型	楽天	3.8	2.8	3.6	571	-10	-101
アジアREIT・リサーチ・オープン (毎月決算型)	三井住友トラスト	-0.8	2.4	-1.2	62	-0	-11
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型)ブラジルレアル	AM-One	3.5	1.6	21.9	494	108	462
GS米国REITファンドA (毎月分配型・為替ヘッジあり)	G S	-8.0	-0.9	3.2	407	-1	14
東京海上・米国優先リートファンド (為替プレミアム)	東京海上	1.3	-1.1	-2.7	258	-9	-41
りそな米国優先リート証券ファンド2014-12	大和	3.5	-1.6	-6.8	87	-1	-8
りそな米国優先リート証券ファンド2015-03	大和	3.5	-1.6	-6.8	72	-0	-2
東京海上・US優先リートオープン (為替ヘッジなし)	東京海上	3.3	-1.6	-6.3	116	-1	-5

<リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6か月前の純資産残高50億円以上から抽出

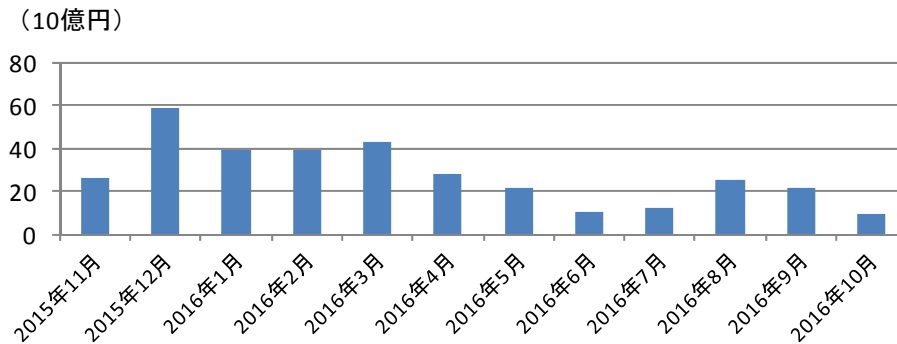
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
三菱UFJ Jリート不動産株F<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	三菱UFJ国際	6.1	-16.5	-23.1	65	-3	-12
インフラ 関連好配当資産ファンド (毎月決算型) (米ドル)	岡三	5.2	-6.5	-17.7	333	-3	-16
インフラ 関連好配当資産ファンド (毎月決算型) (豪ドル)	岡三	4.9	-6.2	-11.7	78	-1	-3
楽天USリート・トリプルエンジン (リアル) 毎月分配型	楽天	3.8	2.8	3.6	571	-10	-101
米国優先リートファンド (為替ヘッジなし)	三井住友	3.5	-2.1	-7.7	95	-4	-28
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型)ブラジルレアル	AM-One	3.5	1.6	21.9	494	108	462
りそな米国優先リート証券ファンド2015-03	大和	3.5	-1.6	-6.8	72	-0	-2
りそな米国優先リート証券ファンド2014-12	大和	3.5	-1.6	-6.8	87	-1	-8
三菱UFJ Jリート不動産株F<Wプレミアム> (毎月決算型)	三菱UFJ国際	3.4	-12.9	-16.4	217	-25	-51
東京海上・US優先リートオープン (為替ヘッジなし)	東京海上	3.3	-1.6	-6.3	116	-1	-5
東京海上J-REIT投信 (ブラジルレアル)年2回決算型	東京海上	3.3	2.8	23.3	53	-3	-6
東京海上J-REIT投信 (ブラジルレアル) 毎月分配型	東京海上	3.2	2.8	23.2	591	-20	-63
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	岡三	2.3	-4.4	-9.6	41	-2	-7
インフラ 関連好配当資産ファンド (毎月決算型) (円投資型)	岡三	1.5	-2.4	-5.6	145	-2	-14
通貨選択型Jリート・ファンド (毎月分配型)米ドル	AM-One	1.3	-12.7	-8.8	200	30	144



## 💡 流入額は減少傾向

- 複合資産の資金流入を牽引してきた、ラップ型ファンドの流入状況が変化を迎えている。引き続き資金を集めるラップ型ファンドがある一方で、ラップ型ファンド残高1位の「コア投資戦略ファンド(安定型・成長型)」等からは、資金流出が継続している。
- ラップ型ファンドは、運用実績が短いファンドが多く、安定的にリターンをあげられるかどうかが目される。

### <資金流入金額推移>



### <資金流出入(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※右表とは異なり、抽出対象には6ヵ月前の純資産残高が50億円未満のファンドを含む

ファンド名	運用会社	資金流入 (億円)			純資産残高 (億円)	リターン (%)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	東京海上	134	1,249	1,836	2,521	0.0	-0.4
スマート・ファイブ(毎月決算型)	日興	60	326	378	606	-0.3	-2.8
アセットアロケーション・ファンド(安定型)	三井住友	36	161	236	302	0.0	1.6
JPMベスト・インカム(毎月決算型)	JPモルガン	31	196	432	665	-0.5	2.9
トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJ国際	30	88	202	1,048	-1.9	0.5
アムンディ・ダブルウォッチ	アムンディ	30	145	213	214	-0.3	0.1
セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	セゾン	15	100	203	1,156	1.4	-3.2
世界株配当収益追求ファンド(価格変動抑制型)	AM-One	15	15	15	15	-	-
アセットアロケーション・ファンド(安定成長型)	三井住友	15	77	133	206	0.9	1.8
アセットアロケーション・ファンド(成長型)	三井住友	14	69	127	199	1.4	1.5
東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	東京海上	12	141	187	208	0.0	-0.4
HSBCワールド・セレクション(安定コース)	HSBC	10	52	68	74	-1.0	1.0
資源ツインαファンド(通貨選択型)ブラジルレアル	T&Dアセット	10	18	37	42	2.3	16.2
ニッセイオーストラリア利回り資産F(毎月決算型)	ニッセイ	8	114	149	213	0.5	-2.4
YMアセット・バランスファンド(安定タイプ)	ワイエムAM	8	62	62	61	-1.9	-

### <リターン(6ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(ブラジルレアル)	日興	5.7	15.5	17.3	287	-6	-64
エマーシング・プラス(成長戦略)	日興	5.4	9.4	3.2	166	-3	-43
日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略)	日興	2.1	9.0	12.2	69	-1	-10
ツインアクセル(ブラジル国債&オーストラリア小型株式)2021-01	大和	2.6	7.4	19.2	132	-6	-43
インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし	AM-One	4.2	7.4	-2.8	111	-5	-24
インカムビルダー(毎月決算型)為替ヘッジなし	AM-One	4.2	7.3	-2.8	119	-5	-30
エマーシング・プラス(円戦略)	日興	1.2	7.3	4.1	43	-1	-12
インカムビルダー(毎月決算型)世界通貨分散	AM-One	3.6	7.1	-0.7	126	-4	-20
ダイワ新興国ハイインカム・プラス(積立型)	大和	-0.7	6.6	10.4	57	-3	-20
ツインアクセル(ブラジル国債&世界小型株式)2021-01	大和	4.6	5.8	10.8	44	-2	-12
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(インドルピー)	日興	4.6	5.2	-3.3	59	-1	-12
トヨタグループ・バランスファンド	三井住友	5.0	5.0	-11.2	79	-0	2
UBSニュー・メジャー・バランス・ファンド(毎月分配型)	UBS	3.6	4.9	-0.6	108	-1	-8
野村カルニャック・ファンドA	野村	-0.0	3.6	2.2	274	-1	-20
ニュー・ハイインカム・PF・円・1年更新	AM-One	-0.4	3.5	0.7	49	-1	-8

### <リターン(1ヵ月) 上位15ファンド一覧>

※6ヵ月前の純資産残高50億円以上から抽出

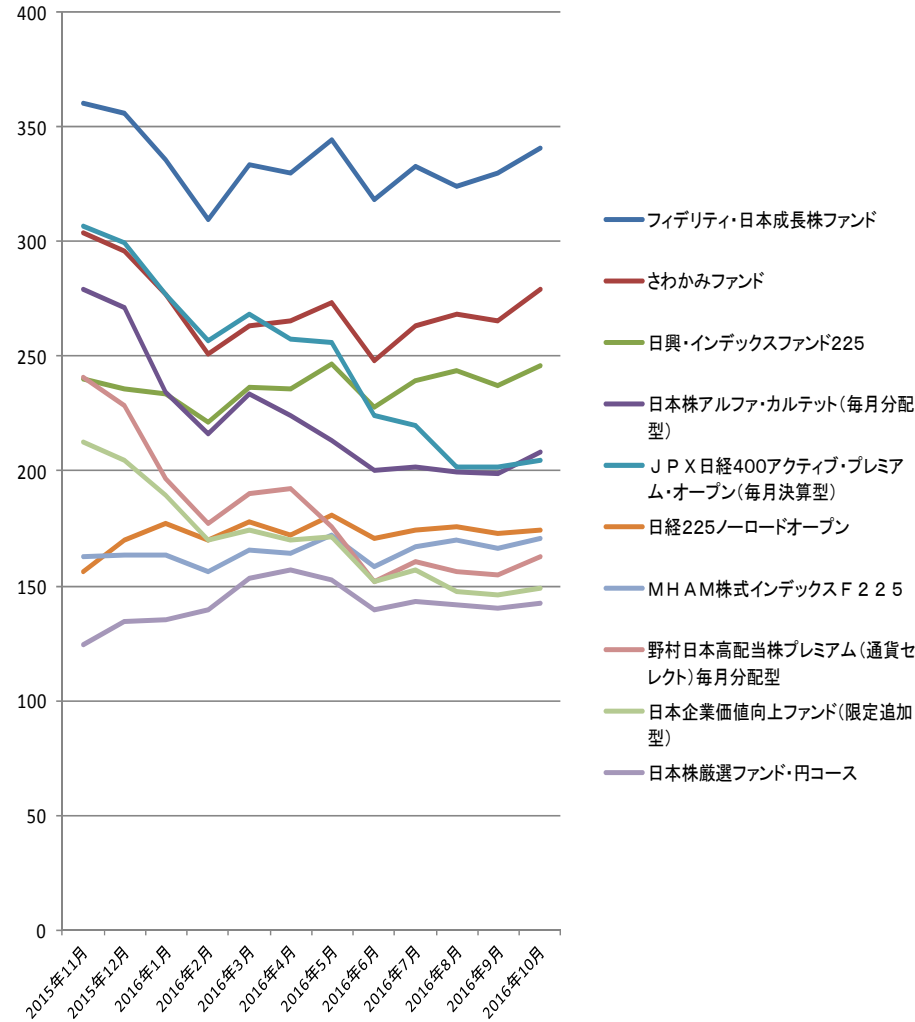
ファンド名	運用会社	リターン (%)			純資産残高 (億円)	資金流出入 (億円)	
		1ヵ月	6ヵ月	1年		1ヵ月	6ヵ月
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(ブラジルレアル)	日興	5.7	15.5	17.3	287	-6	-64
エマーシング・プラス(成長戦略)	日興	5.4	9.4	3.2	166	-3	-43
トヨタグループ・バランスファンド	三井住友	5.0	5.0	-11.2	79	-0	2
日興UBS日本株リスク・コントロール・ファンド	UBS	4.6	1.6	-7.0	139	-6	-38
ツインアクセル(ブラジル国債&世界小型株式)2021-01	大和	4.6	5.8	10.8	44	-2	-12
日興アッシュモア新興国財産3分法F毎月分配型(インドルピー)	日興	4.6	5.2	-3.3	59	-1	-12
ハッピーエイジング・ファンド20	損保日本興亜	4.5	2.7	-10.0	79	-0	1
インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし	AM-One	4.2	7.4	-2.8	111	-5	-24
インカムビルダー(毎月決算型)為替ヘッジなし	AM-One	4.2	7.3	-2.8	119	-5	-30
ハッピーエイジング・ファンド30	損保日本興亜	3.7	1.7	-8.5	97	0	2
米国ツイン・スターズ・ファンドB(為替ヘッジなし)	明治安田	3.7	-1.8	-9.9	63	-2	-18
UBSニュー・メジャー・バランス・ファンド(毎月分配型)	UBS	3.6	4.9	-0.6	108	-1	-8
インカムビルダー(毎月決算型)世界通貨分散	AM-One	3.6	7.1	-0.7	126	-4	-20
シュローダー・インカムアセット・アロケーションA(毎月決算型)	シュローダー	3.2	-2.1	-10.7	58	-0	-0
三菱UFJ・ライフェレクF(成長型)	三菱UFJ国際	3.1	1.0	-7.7	84	0	1

# 【ご参考】資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移1

## ＜純資産残高上位10ファンド1＞

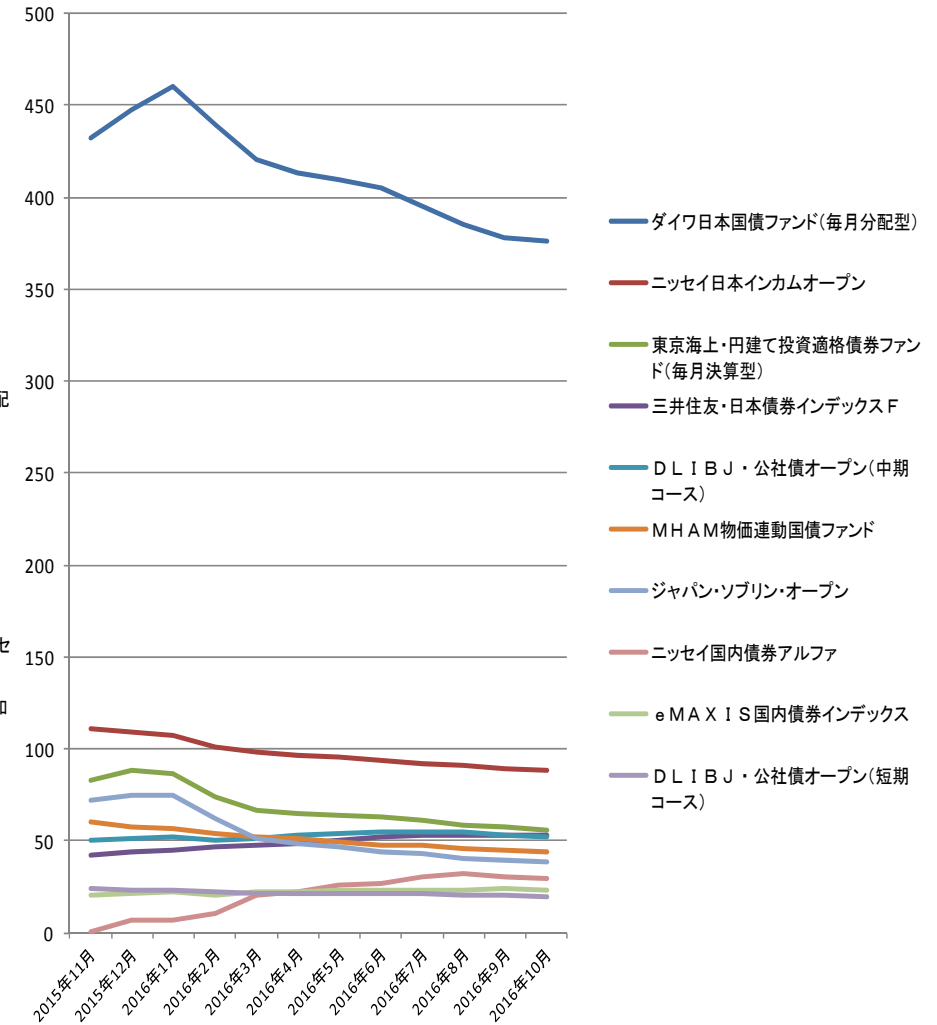
### ■国内株式

(10億円)



### ■国内債券

(10億円)

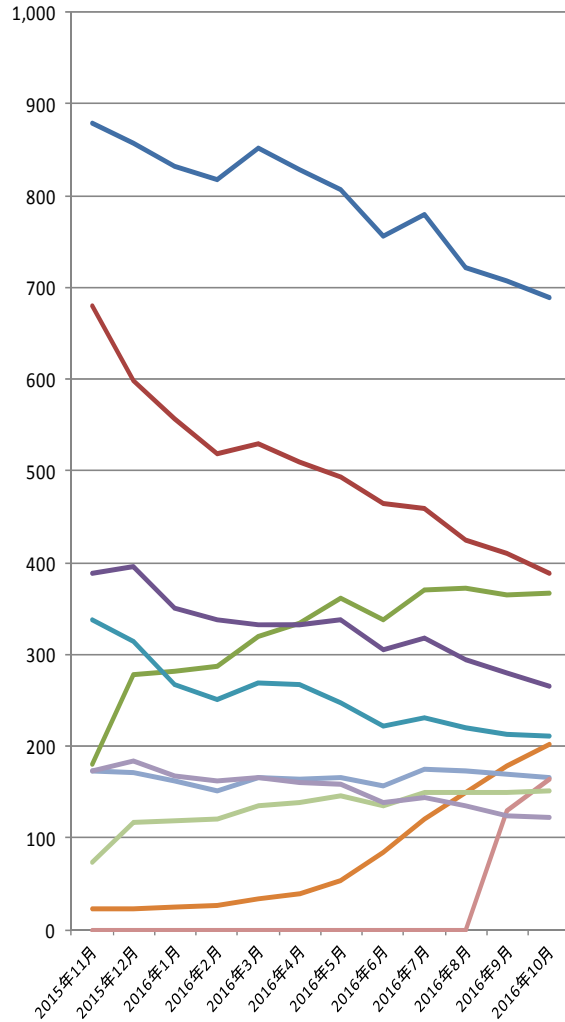




## ＜純資産残高上位10ファンド2＞

### ■先進国株式

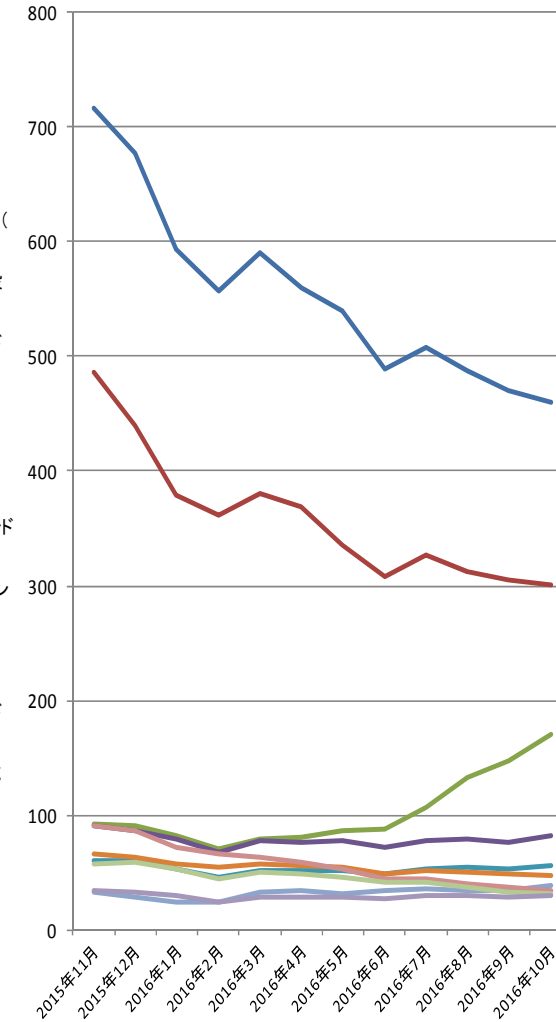
(10億円)



- ピクテ・グローバル・インカム株式 F (毎月分配型)
- 野村ドイチェ高配当インフラ関連株投信(米ドル)毎月
- グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
- グローバル・ヘルスケア&バイオF
- 野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクト)毎月分配
- LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配)
- ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)
- グローバルAIファンド
- グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)
- アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 D

### ■エマージング株式

(10億円)

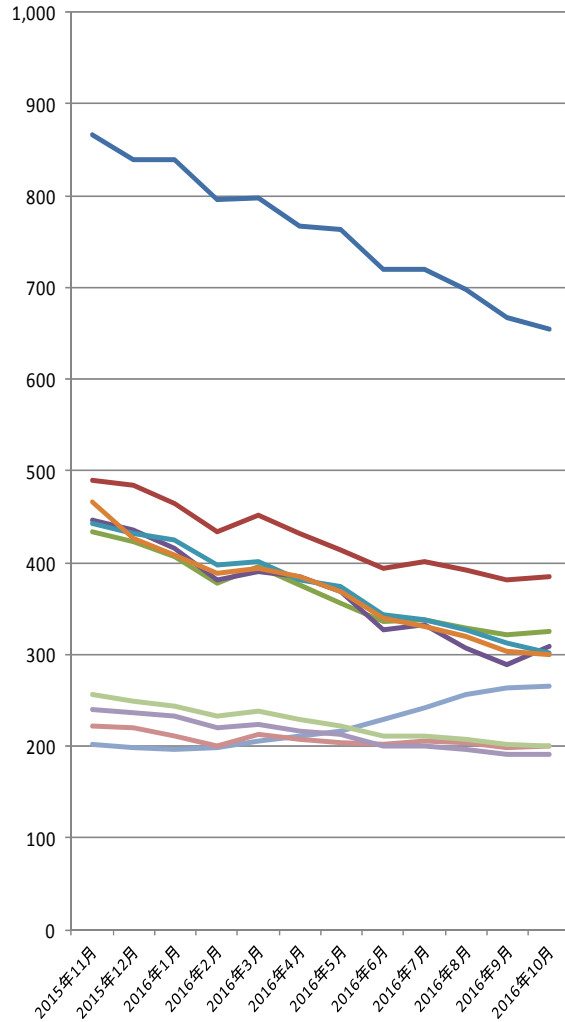


- アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
- ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)
- 野村インド株投資
- イーストスプリング・インド株式オープン
- H S B Cインドオープン
- 三井住友・アジア・オセアニア好配当株式オープン
- H S B Cブラジルオープン
- アジア・ヘルスケア株式ファンド
- 高成長インド・中型株式ファンド
- イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド

## ＜純資産残高上位10ファンド3＞

### ■先進国債券

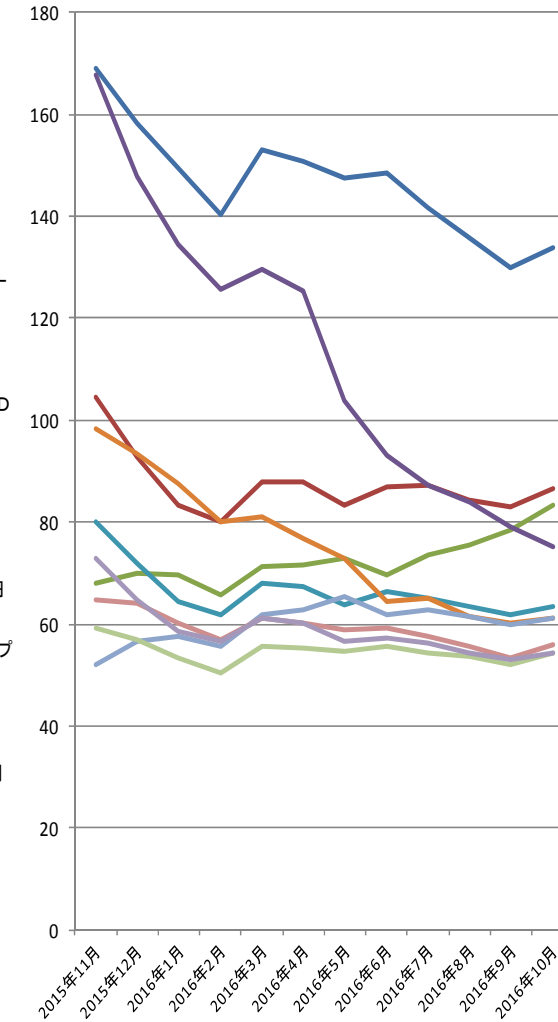
(10億円)



- グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
- ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)
- 短期豪ドル債オープン(毎月分配型)
- 野村テンブルトン・トータル・リターンD
- 高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
- ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)
- UBS世界公共インフラ債券投信円(毎月分配型)
- 三菱UFJグローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)
- DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)
- ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)

### ■エマージング債券

(10億円)

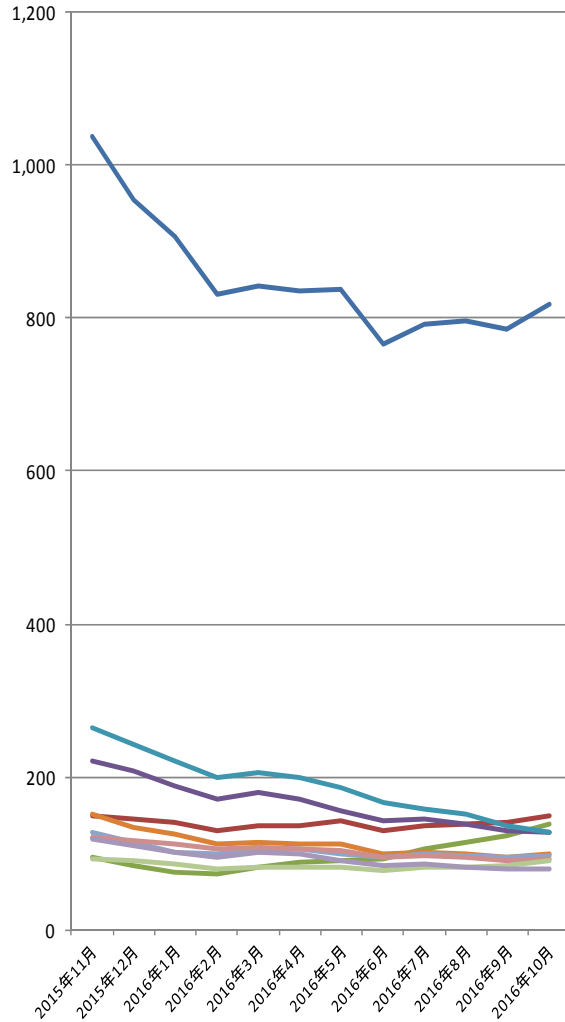


- ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)
- 三菱UFJ新興国債券ファンド<ブラジルリアル>(毎月分配型)
- 野村インド債券ファンド(毎月分配型)
- 日興ピムコ・ハインカム・ソブリンF 毎月(トルコリラ)
- (通貨選択EBF) ブラジルリアルコース(毎月分配型)
- インド債券ファンド(毎月分配型)
- ニッセイ短期インド債券ファンド(毎月決算型)
- 新光ブラジル債券ファンド
- ダイワ・ブラジル・リアル債オープン(毎月分配型)
- S M B C ・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)

## ＜純資産残高上位10ファンド4＞

### ■ハイイールド債券

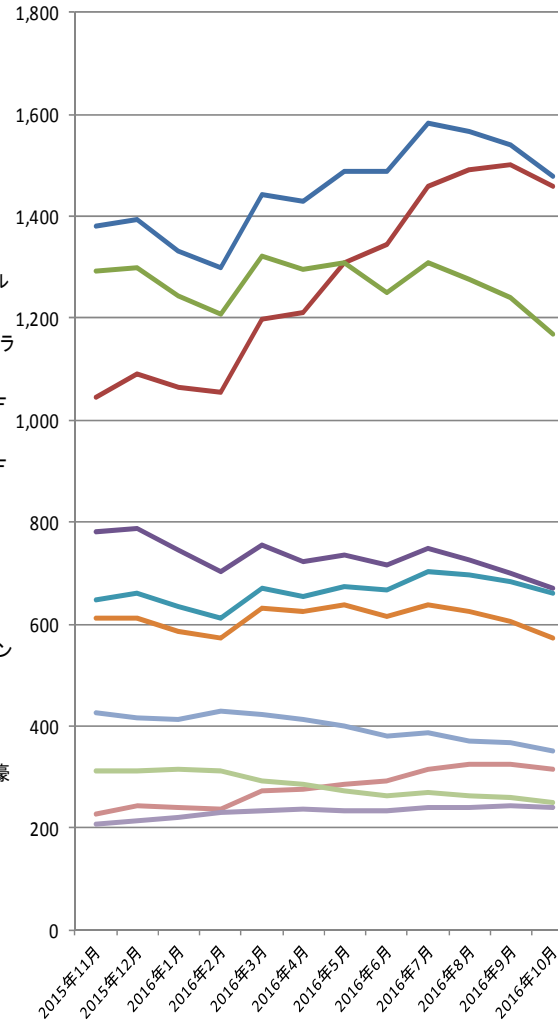
(10億円)



- フィデリティ・USハイイールドF
- フィデリティ・グローバル・ハイイールドF (毎月決算型)
- 野村米国ハイイールド債券投信(ブラジルレアル)毎月分配型
- アムンディ・欧州ハイイールド債券F (豪ドル)
- アムンディ・欧州ハイイールド債券F (トルコリラ)
- GSハイイールド・ボンド・ファンド
- 野村グローバル・ハイイールド債券投信(資源国通貨)毎月分配型
- ビムコハイ・インカム毎月分配型ファンド
- みずほUSハイイールドオープンB
- 欧州ハイイールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)

### ■REIT

(10億円)



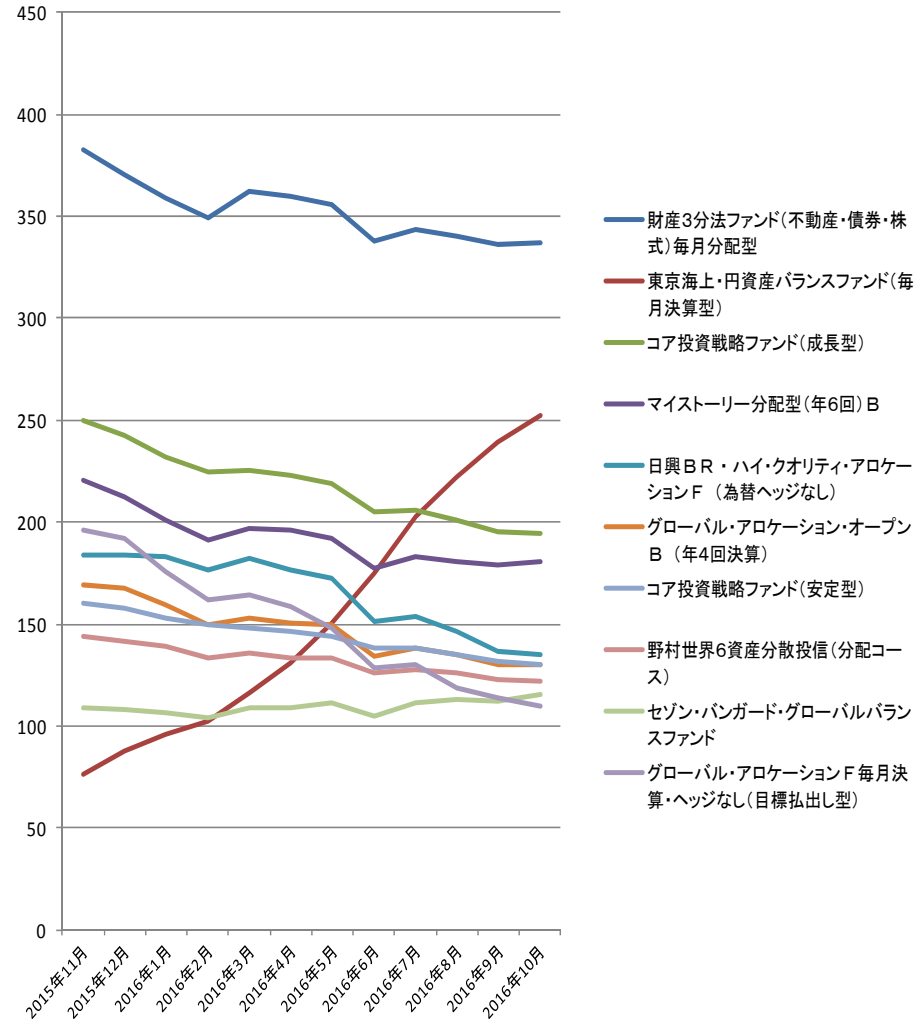
- 新光US-REITオープン
- フィデリティ・USリート・ファンドB
- ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)
- ダイワ米国リート・ファンド(毎月分配型)
- ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)B
- ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
- J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)
- GS米国REITファンドB(毎月分配型・為替ヘッジなし)
- ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)
- しんきんJリートオープン(毎月決算型)

# 【ご参考】資産ごとの純資産残高上位ファンドの推移5

## <純資産残高上位10ファンド5>

### ■ 複合資産

(10億円)



- **国内株式型**

国内株式を主たる投資対象とするファンド。

- **国内債券型**

国内債券を主たる投資対象とするファンド。

- **外国株式型**

外国株式のうち、先進国の株式を主たる投資対象とするファンド。先進国とはMSCI-KOKUSAI構成国とします。

- **エマージング株式型**

外国株式のうち、新興国の株式を主たる投資対象とするファンド。新興国とはMSCIワールドに含まれない国とします。

- **外国債券型**

外国債券のうち、先進国の債券を主たる投資対象とするファンド。先進国とはシティWGBI採用国とニュージーランドとします。

- **エマージング債券型**

外国債券のうち、新興国の債券を主たる投資対象とするファンド。新興国とはシティWGBIに含まれない国からニュージーランドを除いた国とします。

- **ハイイールド債券型**

外国債券のうち、ハイイールド債券を主な投資対象とするファンド。ハイイールド債券とはエマージング債券を含めて格付けBB以下の投資不適格債とします。

- **複合資産型**

株式および債券を主たる投資対象とするバランス型ファンド。

- **REIT(不動産投信型)**

REITを主たる投資対象とするファンド。国内REIT、外国REIT双方を含みます。

- **その他**

上記いずれの分類にも属さないファンド。CBファンドもこの分類に入ります。

## Ⅱ. 今月のトピック



2016年11月 今月のトピック

# 『外国株式(先進国)ファンド』

アナリスト 佐藤 明

2016年11月14日作成

外国株式（先進国）ファンドの過去10年のリターンを概観し、主要な運用戦略ごとの運用実績を確認する。

## 『ポイント』

- 外国株式（先進国）の過去10年の累積リターンは、為替戦略で差が出た。「為替ヘッジあり」ファンドが「為替ヘッジなし」ファンドを上回った。
- 投資地域別のリターンでは、「米国」のリターンが高く、「欧州」のリターンが低い。
- 運用タイプ別の純資産残高では、「配当型」が最大勢力。「配当型」の運用実績の特徴は、低リスク（短期価格変動が相対的に少ない）・平均的リターン。
- アクティブファンドでリターンが最も高かったのは、テーマ型の「ヘルスケア」、「テクノロジー」。最も低かったのはテーマ型の「資源・エネルギー」。

## ■外国株式(先進国)ファンドの市場構成

- 三菱アセット・ブレインズのファンド分類では、「外国株式(先進国)」に分類される公販ファンド(ETF、DC・SMA専用を除く公募ファンド)は、2016年9月末現在で674本、純資産総額は6兆9,962億円。このうち、純資産額が10億円以上のファンドは420本で全体の62%(金額ベースでは98%)と過半数を超える。
- 純資産額10億円以上のファンドのうち、パッシブファンドは37本で9%(金額では5%)、アクティブファンドは383本で91%(同95%)で、圧倒的にアクティブが主流である。
- 外国資産への投資は為替の影響を大きく受けるため、為替戦略によって対円での為替ヘッジの有無や、他通貨連動(通貨選択型)に区分すると、アクティブファンドのうち為替ヘッジなしは275本(72%)、対円での為替ヘッジありが46本(12%)、通貨選択型が62本(16%)となり、外国株式(先進国)では「アクティブファンドの為替ヘッジなし」が最も大きなカテゴリーである。
- 2016年9月現在で運用期間が10年以上のファンドは、全体の674本のうち112本(17%、金額ベース:25%)、純資産額が10億円以上のファンドでは89本。日本の投信市場は新規ファンドを次々開発する構造であるため、長期運用ファンドの全体に占める比率は小さい。通貨選択型は外国株式(先進国)カテゴリーだけでも1兆円を超える純資産残高があるが、ほとんどが過去10年以内に設定されたものである。

表：外国株式(先進国)に分類される公販ファンド概要

	2016年9月末		運用期間：5年超		運用期間：10年超	
	ファンド数 (本)	純資産残高 (百万円)	ファンド数 (本)	純資産残高 (百万円)	ファンド数 (本)	純資産残高 (百万円)
対象ファンド数	674	6,996,195	278	3,406,148	112	1,749,353
10億円未満	254	85,229	87	40,683	23	8,454
10億円以上	420	6,910,966	191	3,365,465	89	1,740,899
パッシブ・ファンド	37	325,154	22	199,869	11	60,258
為替ヘッジなし	35	320,083	22	199,869	11	60,258
為替ヘッジあり	2	5,071	0	0	0	0
アクティブ・ファンド	383	6,585,812	169	3,165,596	78	1,680,641
為替ヘッジなし	275	5,099,967	121	2,201,560	63	1,611,454
為替ヘッジあり	46	185,455	19	75,707	15	69,187
通貨選択型	62	1,300,390	29	888,329	0	0

出所) 三菱アセット・ブレインズ

## ■アクティブファンド(為替ヘッジなし)の内訳: 配当型が最大勢力

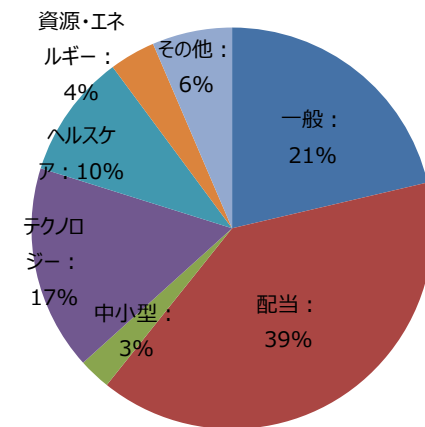
- 外国株式(先進国)分類の最大カテゴリーであるアクティブファンド(為替ヘッジなし)を、さらにその内訳として、「投資地域別」と「運用タイプ別」に分類した。
- 「投資地域別」はグローバル、米国、欧州、その他の4種類に分類した。2016年9月現在のファンド数(純資産額10億円以上、以下同様)の割合は、グローバル:53%、米国:26%、欧州:9%、その他:12%であり、グローバルが半分以上を占めるが、米国もほぼ1/4の比率がある。
- 「運用タイプ別」は分類が難しいが、ここではファンド名に“配当”や“インカム”等が含まれるものを「配当」、「中小型」等が含まれるものを「中小型」、特定の投資テーマが含まれるものを「テーマ型」、「グロース」や“バリュー”等を含むそれ以外のものを「一般型」と区分した。
- 運用タイプ別で最大のカテゴリーは配当型で、ファンド数では31%(2位)、純資産額では39%(1位)。これは、外国株式投資において配当重視戦略の有効性が評価されたというよりは、毎月分配型等で分配原資を生み出し易いことが販売政策とマッチしたためと思われる。

表：アクティブファンド(為替ヘッジなし)の投資地域別・運用タイプ別内訳

	2016年9月末		運用期間：5年超		運用期間：10年超	
	ファンド数 (本)	純資産残高 (百万円)	ファンド数 (本)	純資産残高 (百万円)	ファンド数 (本)	純資産残高 (百万円)
アクティブ(為替ヘッジなし)計	275	5,099,967	121	2,201,560	63	1,611,454
(投資地域別)						
グローバル	145	3,271,269	95	1,837,771	49	1,487,138
米国	72	991,854	12	109,738	8	94,160
欧州	26	174,552	9	62,308	5	23,656
その他	32	662,292	5	191,743	1	6,500
(運用タイプ別)						
一般	92	1,088,155	46	468,978	27	238,175
配当	85	2,009,490	33	1,229,527	21	959,829
中小型	11	131,932	4	12,828	2	5,379
テーマ：テクノロジー	14	841,749	3	37,740	1	28,524
テーマ：ヘルスケア	12	511,250	7	327,675	4	314,377
テーマ：資源・エネルギー	24	188,187	8	43,667	3	28,561
その他	37	329,204	20	81,145	5	36,609

出所) 三菱アセット・ブレインズ

図：運用タイプ別内訳  
(純資産残高ベース)



## ■主要分類別の過去10年間の累積リターン

- 2016年9月現在で運用期間が10年以上あるファンドの 카테고리平均の10年間累積リターン(2006年10月～2016年9月)は下表のようになっている。
- 参考のため、過去10年間の前半5年間(2006年10月～2011年9月)と後半5年間(2011年10月～2016年9月)、運用期間が5年以上あるファンドの過去5年間の累積リターンも載せた。

表：分類別リターン（過去10年間）

	運用期間：10年超			運用期間：10年超		運用期間：5年超		
	ファンド数	10年累積 リターン	年率リスク	前半 5年累積 リターン	後半 5年累積 リターン	ファンド数	5年累積 リターン	年率リスク
パッシブ・ファンド（為替ヘッジなし）	11	28.0%	21.7%	-41.4%	118.4%	22	121.4%	18.5%
アクティブ・ファンド	78	38.5%	21.4%	-30.1%	102.3%	140	94.6%	18.6%
為替ヘッジなし	63	30.1%	22.0%	-35.9%	105.7%	121	96.7%	19.1%
為替ヘッジあり	15	73.5%	18.9%	-6.0%	87.9%	19	81.1%	15.3%
アクティブ（為替ヘッジなし）：内訳								
（投資地域）								
グローバル	49	25.9%	21.2%	-35.3%	98.7%	95	92.8%	18.7%
米国	8	64.2%	24.3%	-34.5%	150.0%	12	142.3%	19.4%
欧州	5	9.9%	25.2%	-44.9%	96.2%	9	91.2%	20.7%
その他	1	67.7%	25.9%	-31.7%	145.3%	5	70.9%	22.9%
（運用タイプ）								
一般	27	27.0%	22.4%	-40.4%	112.4%	46	105.2%	18.8%
配当	21	19.7%	19.1%	-37.8%	93.2%	33	90.3%	16.6%
中小型	2	62.1%	25.9%	-35.0%	149.4%	4	139.4%	19.5%
テーマ：テクノロジー	1	112.5%	25.3%	-19.7%	164.5%	3	138.0%	22.6%
テーマ：ヘルスケア	4	102.6%	22.1%	-32.5%	200.6%	7	180.1%	20.2%
テーマ：環境	2	28.0%	20.7%	-40.6%	114.3%	10	96.4%	18.7%
テーマ：資源・エネルギー	3	-29.9%	33.8%	-4.8%	-26.2%	8	-4.5%	27.4%
テーマ：ブランド	3	47.3%	23.5%	-19.9%	84.6%	3	84.6%	19.9%

出所) 三菱アセット・ブレインズ



## ■ 投資地域別では北米、運用タイプ別ではテーマ型・中小型が良好

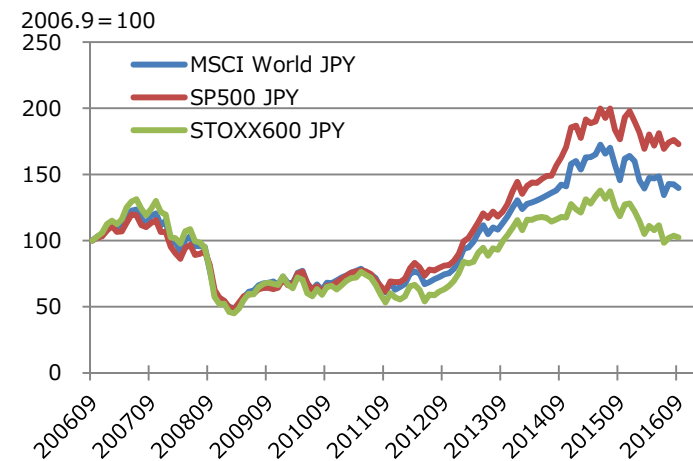
- 過去10年間のカテゴリ別平均リターンを見ると、アクティブファンドのリターンがパッシブファンドを上回った。これには、為替要因(パッシブファンドは対象ファンド全てが為替ヘッジなしだった)と個別要因がある。この10年間で円は対米ドル、対ユーロ共に円高となっており、為替ヘッジありファンドのリターンを押し上げた。個別要因はカテゴリに占める高リターンファンド(テーマ型)の比率が高かったことである。
- アクティブファンド(為替ヘッジなし)のカテゴリの内訳を見ると、先ず「投資地域別」では米国のリターンがトップで、グローバル、欧州と続く。下表にあるように、「投資地域別」では概ね各地域のインデックスに沿った実績となっている。特に円ベースでのグローバルと米国で差が出たのは後半5年間で、イノベーションにより米国企業がグローバルでプレゼンスを高めた結果が表れている。
- 「運用タイプ別」では、純資産額トップの配当カテゴリのリターンは必ずしも高くは無い。市場が下落していた前半5年間でも目立って優位といえるほどのパフォーマンスではなく、過去10年間では配当重視戦略に優位性は見出し難い。
- リターンが良かったのはテーマ戦略のテクノロジーとヘルスケアで、特化戦略は時流に乗れば有効であることが分かる。ただし、資源・エネルギーのようにその逆もある。

表：主要インデックスのリターンと為替動向（過去10年間）

	過去10年間リターン (2006年10月～ 2016年9月)	前半5年間リターン (2006年10月～ 2011年9月)	後半5年間リターン (2011年10月～ 2016年9月)
【インデックス（現地通貨ベース）】			
MSCI世界株式（配当込み、現地通貨ベース）	65.1%	-14.4%	92.8%
S&P500（配当込み、米ドルベース）	101.1%	-5.8%	113.4%
STOXXヨーロッパ600（配当込み、ユーロベース）	34.6%	-23.2%	75.1%
【インデックス（円ベース）】			
MSCI世界株式（配当込み、円ベース）	39.7%	-39.1%	129.4%
S&P500（配当込み、円ベース）	72.9%	-38.4%	180.6%
STOXXヨーロッパ600（配当込み、円ベース）	2.4%	-46.8%	92.3%
【為替レート（対円）】			
円/米ドル	118.18→101.35	118.18→77.06	77.06→101.35
（変化率）	-14.2%	-34.8%	31.5%
円/ユーロ	149.79→113.92	149.79→103.12	103.12→113.92
（変化率）	-23.9%	-31.2%	10.5%

出所) 三菱アセット・ブレインズ

図：主要インデックスの推移（2006年9月 = 1.0）



## ■パッシブファンドでもリターンには格差、コストが要因

- 運用期間が10年以上あるパッシブファンドの累積リターンを見ると、対象ファンドは全てベンチマークが「MSCIコクサイ」であるにも関わらず、累積リターンの差が最大で5%ポイント近くある。この要因の半分程度が運用管理費用の差であり、残りはオペレーションの差である。
- リターンが最大のファンドと最低のファンドの運用管理費用の年間の差は0.2268%（税込み）であり、これだけで10年間で2.3%程度のリターンの差になる。
- 近年は、ETF市場の拡大もあり、公販のパッシブファンドは運用管理費用の低下が進んできた。現在の運用管理費用の主戦場は0.2%台で、平均的な外国株式ETFとほぼ同程度の水準である。

表：運用期間が10年以上あるパッシブファンド

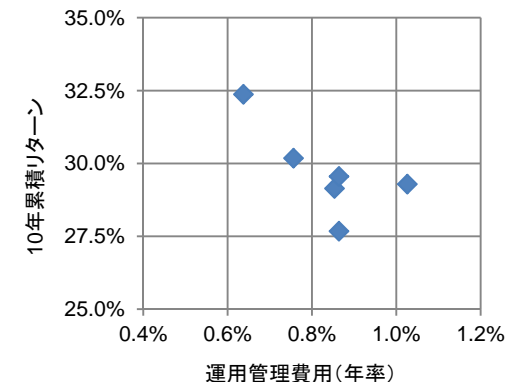
ファンド名	投信会社	運用 管理費用	過去10年（2006.10～2016.9）			純資産 (201609)
			累積リターン	年率リターン	年率リスク	
野村外国株式インデックスファンド	野村	0.6372%	32.4%	2.84%	21.7%	1,080
インベスコMSCIコクサイ・インデックス・ファンド	インベスコ	0.7560%	30.2%	2.67%	21.5%	5,059
三菱UFJ外国株式インデックスファンド	三菱UFJ国際	0.8532%	29.1%	2.59%	21.6%	3,648
外国株式インデックスファンド	三井住友トラスト	0.8640%	29.6%	2.62%	21.7%	4,343
PRU海外株式マーケット・パフォーマー	ブルデンシャル	0.8640%	27.7%	2.47%	21.6%	1,773
ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン	Sストリート	1.0260%	29.3%	2.60%	21.7%	13,607

表：2016年9月現在で運用管理費用が低いパッシブファンド

ファンド名	投信会社	設定日	運用管理費用	純資産
ステート・ストリート先進国株式インデックス・オープン	Sストリート	2016/5/9	0.2160%	142
iFree 外国株式インデックス	大和	2016/9/8	0.2268%	83
たわらノーロード先進国株式	AM-One	2015/12/18	0.2430%	4,740
iFree NYダウ・インデックス	大和	2016/9/8	0.2430%	323
<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド	ニッセイ	2013/12/10	0.2592%	30,632
EXE-i 先進国株式ファンド	SBI	2013/5/13	0.3244%	4,559
SMTグローバル株式インデックス・オープン	三井住友トラスト	2008/1/9	0.5400%	48,707
外国株式指数ファンド	三井住友	2009/10/19	0.5400%	1,132
野村インデックスファンド・外国株式（Funds-i 外国株式）	野村	2010/11/26	0.5940%	5,020
i-mizuhō 先進国株式インデックス（為替ヘッジなし）	ブラックロック	2013/9/3	0.6156%	475
eMAXIS 先進国株式インデックス	三菱UFJ国際	2009/10/28	0.6480%	32,373

出所）三菱アセット・ブレインズ

図：リターンとコスト





## ■アクティブファンド「一般型」は米国・グロースが優位、欧州・バリューは不冴え

- 運用タイプ別の「一般型」は、配当型やテーマ型以外をまとめたカテゴリーのため、過去10年間のファンド別のリターンに大きなバラつきがある。下記主要ファンドのトップは110.9%、ボトムは-21.3%。
- リターン格差は、主に「投資地域」が原因で、米国が最も高く、次がグローバル、欧州が最も低い。
- ただ、同じ投資地域内でもリターン格差は大きく、投資地域：米国のトップとボトムの差は89.9%、グローバルでの差は51.1%となっている。
- 過去10年は、全般的にバリュー系の運用スタイルのリターンが相対的に冴えなく、グロース系の運用手法を用いるファンドのリターンが高い傾向があった。

表：アクティブファンド（為替ヘッジなし）の運用タイプ別「一般型」主要ファンドの過去10年リターン

ファンド名	投信会社	投資地域	累積リターン			年率リスク 過去10年	実質運用管理 費用
			過去10年	前半5年	後半5年		
米国NASDAQオープンBコース	野村	米国	<b>110.9%</b>	-15.1%	148.5%	23.5%	1.6632%
フィデリティ・日本・アジア成長株投信	フィデリティ	アジア・オセアニア	<b>67.7%</b>	-31.7%	145.3%	25.9%	1.6092%
フィデリティ・レバレッジド・カンパニー・ストック・ファンドBコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	米国	<b>63.5%</b>	-37.1%	160.0%	28.3%	1.8144%
アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	アライアンス	米国	<b>61.3%</b>	-42.5%	180.5%	21.9%	1.6956%
フィデリティ・米国優良株・ファンド	フィデリティ	米国	<b>45.6%</b>	-39.9%	142.5%	21.9%	1.6524%
フィデリティ・グローバル・ファンド	フィデリティ	グローバル	<b>40.5%</b>	-34.2%	113.4%	22.0%	1.8684%
ブラックロック・USベーシック・バリュー・オープン	ブラックロック	米国	<b>35.6%</b>	-44.1%	142.5%	21.7%	1.7388%
MHAMグローバル・アクティブ・オープン	AM-One	グローバル	<b>33.6%</b>	-39.3%	120.1%	23.1%	1.6740%
グローバル・バリュー・オープン	野村	グローバル	<b>26.9%</b>	-39.9%	111.3%	17.9%	1.6416%
フィデリティ・欧州株・ファンド	フィデリティ	欧州	<b>24.9%</b>	-41.0%	111.8%	24.7%	1.6524%
朝日Nestグローバルバリュー株オープン（Avest-E）	朝日ライフ	グローバル	<b>24.5%</b>	-37.2%	98.2%	24.2%	1.9440%
フィデリティ・グローバル・エクイティ・オープンBコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	グローバル	<b>22.8%</b>	-41.6%	110.1%	21.4%	2.0844%
グローバル・ベスト・ファンド	大和住銀	グローバル	<b>21.6%</b>	-48.3%	135.2%	25.4%	1.8792%
三菱UFJNASDAQオープンBコース	三菱UFJ国際	米国	<b>21.0%</b>	-43.3%	113.5%	26.7%	1.6416%
NN海外株式オープン（コルベッティエ・ファンド）	NNインベスト	グローバル	<b>15.5%</b>	-42.7%	101.6%	21.4%	1.6740%
世界優良株ファンド（3ヵ月決算型）（プライムコレクション）	T&Dアセット	グローバル	<b>12.2%</b>	-48.2%	116.6%	21.0%	1.5984%
インベスコ世界厳選株オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）（世界のベスト）	インベスコ	グローバル	<b>12.0%</b>	-44.9%	103.5%	19.9%	1.8684%
ブラックロック欧州株式オープン	ブラックロック	欧州	<b>4.8%</b>	-40.8%	77.1%	24.5%	1.8144%
損保ジャパン-TCW外国株式ファンド（Bコース）	損保J日本興亜	グローバル	<b>2.7%</b>	-47.4%	95.1%	22.2%	2.0520%
バインブリッジ・ワールド株式・オープン	バインブリッジ	グローバル	<b>-10.6%</b>	-52.9%	89.9%	21.5%	1.8360%
ピクテ欧州ファンドBコース（為替ヘッジなし）	ピクテ	欧州	<b>-19.9%</b>	-51.8%	66.4%	24.6%	1.6740%
ドイツ・ユーロスター・オープン	ドイツ	欧州	<b>-21.3%</b>	-55.0%	74.8%	25.6%	1.6200%

出所）三菱アセット・ブレインズ

## ■「配当型」はボラティリティの相対的低さが特徴、リターンは相対的に見劣り

- 「配当型」の主要ファンドのリターン格差は33.9%（トップーボトム）と一般型よりもかなり小さい。そもそも運用スタイルが似かよっていることと、10年以上運用実績のあるファンドでは投資地域のバラつきが少ないことが要因である。
- 他の運用スタイルと比べて最も特徴的なことは、相対的にリスク（価格変動）が小さいことである。ただし、これはリターンが悪化しないことを意味しているわけではない。実際、前半5年の市場下落局面でのマイナス幅は、一般型と比べてわずかに小さいだけである。
- なお、外国株式（先進国）分類で最も純資産が大きい「ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド」は、投資対象を公益株に絞っており、テーマ性が強いことが要因でリターンが相対的に低くなっている。

表：アクティブファンド（為替ヘッジなし）の運用タイプ別「配当型」主要ファンドの過去10年リターン

ファンド名	投信会社	投資地域	累積リターン			年率リスク	実質運用管理費用
			過去10年	前半5年	後半5年	過去10年	
アムンディ・世界好配当株式ファンド（毎月分配型）（グローバル・ドリーム）	アムンディ	グローバル	<b>38.3%</b>	-30.2%	98.1%	18.7%	1.1556%
D I A M世界好配当株オープン（毎月決算コース）（世界配当倶楽部）	A M - O n e	グローバル	<b>37.3%</b>	-27.2%	88.6%	18.5%	1.1880%
ブラックロック世界好配当株式オープン（世界の息吹）	ブラックロック	グローバル	<b>37.3%</b>	-30.6%	97.8%	18.7%	1.2744%
M H A M海外好配当株ファンド	A M - O n e	グローバル	<b>32.6%</b>	-35.8%	106.5%	18.1%	1.1556%
日興・C S世界高配当株式ファンド（毎月分配型）	日興	グローバル	<b>26.6%</b>	-40.1%	111.3%	19.4%	1.1880%
フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド	フィデリティ	グローバル	<b>23.3%</b>	-36.9%	95.3%	19.4%	1.4500%
フィデリティ・グローバル好配当株ファンド	フィデリティ	グローバル	<b>22.1%</b>	-38.4%	98.3%	19.7%	1.4800%
世界好配当株投信（年4回決算型）	野村	グローバル	<b>18.6%</b>	-41.4%	102.5%	18.5%	1.1880%
三井住友・グローバル好配当株式オープン（世界の豆の木）	三井住友	グローバル	<b>18.2%</b>	-38.3%	91.6%	19.3%	1.4040%
みずほ好配当世界株オープン	A M - O n e	グローバル	<b>17.8%</b>	-37.0%	87.1%	18.8%	1.5120%
きらやかグローバル好配当株式オープン	A M - O n e	グローバル	<b>16.9%</b>	-37.2%	86.0%	18.4%	1.5120%
グローバル高配当株式ファンド（毎月分配型）（軍配）	日興	グローバル	<b>14.5%</b>	-39.1%	87.8%	20.0%	1.4148%
ドイチェ・グローバル好配当株式ファンド（毎月分配型）	ドイチェ	グローバル	<b>13.0%</b>	-48.7%	120.0%	20.5%	1.4040%
ニッセイ/パトナム・グローバル好配当株式オープン（12のどんぐり）	ニッセイ	グローバル	<b>12.6%</b>	-44.8%	104.2%	20.4%	1.4796%
グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド	野村	グローバル	<b>11.0%</b>	-41.4%	89.4%	18.3%	1.1880%
しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	しんきん	グローバル	<b>10.3%</b>	-43.4%	94.9%	20.2%	1.5120%
グローバル株式インカム（毎月決算型）	三菱UFJ国際	グローバル	<b>8.3%</b>	-49.4%	113.9%	21.1%	1.2636%
グローバル好配当株オープン	大和住銀	グローバル	<b>6.3%</b>	-38.8%	73.7%	21.2%	1.1664%
新光ピクテ世界インカム株式ファンド（毎月決算型）	A M - O n e	グローバル	<b>5.9%</b>	-32.7%	57.4%	16.7%	1.8422%
ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ	グローバル	<b>4.4%</b>	-32.8%	55.2%	16.9%	1.7880%

出所）三菱アセット・ブレインズ

## ■「テーマ型」は良くも悪くも投資の成否がはっきり出る

- 「テーマ型」ファンドは特定の投資テーマに集中投資するため、ファンド毎のリターンのバラつきはアクティブファンドの中で最も大きい。リスクも総じて高めである。
- 過去10年でリターンが大きかったテーマは「ヘルスケア」と「テクノロジー」、この2分野はリターンに大きな格差はない。一方、「資源・エネルギー」はマイナスのリターン、「ブランド」、「環境」は似たようなテーマの中でもリターン格差が比較的大きくなった。
- 「ヘルスケア」は、総じて過去5年間(後半5年)の株価上昇が大きかった。グローバルに大型のM&Aが活発だったことや、バイオ医薬品等新分野での商品化が企業収益をけん引したことが寄与した。
- 「テクノロジー」は、アップル、アルファベット、フェイスブックに代表されるインターネット関連企業の新市場創出・拡大がセクター全体をけん引した。
- 「資源・エネルギー」は、原油価格を中心とした国際商品市況が中国の構造変化で2015年以降は大きく下落していることが株価を押し下げた。
- 「環境」や「ブランド」は、それぞれ似たようなテーマであっても、ファンド毎にテーマに関する具体的なコンセプトに違いがあるため、リターン格差が大きくなった。過去10年ではESG投資の先駆けであるSRIをテーマにしたファンドのリターンも相対的に低調であった。

表：アクティブファンド（為替ヘッジなし）の運用タイプ別「テーマ型」主要ファンドの過去10年リターン

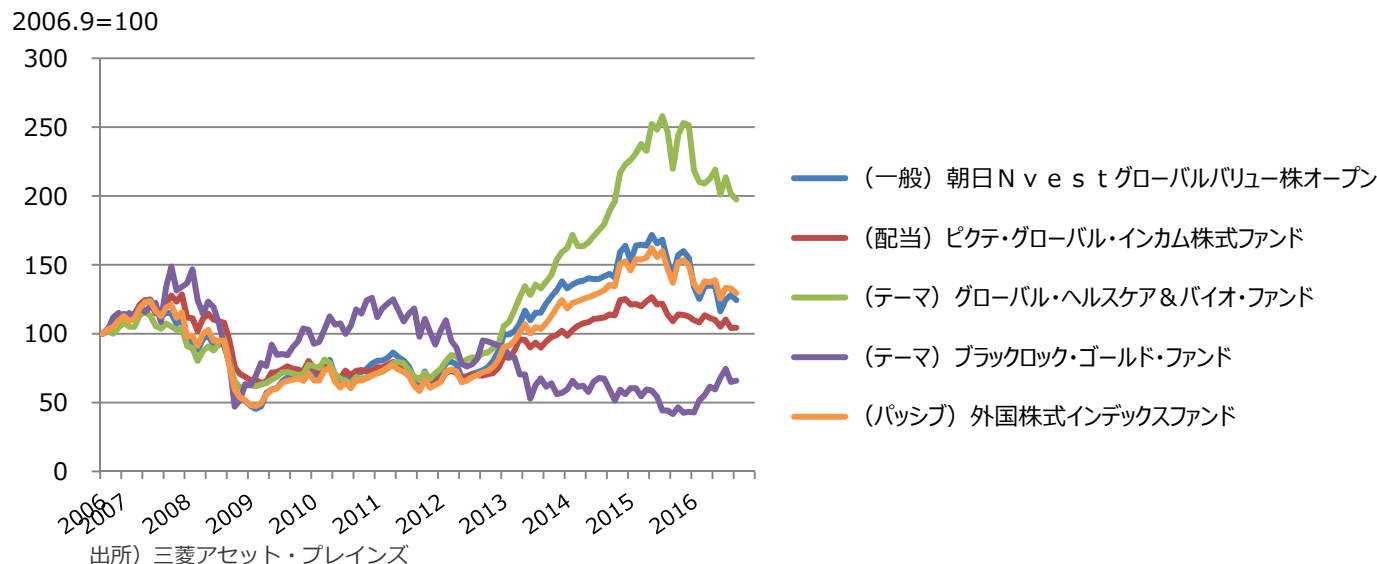
ファンド名	投信会社	投資地域	テーマ	累積リターン			年率リスク 過去10年	実質運用管理 費用
				過去10年	前半5年	後半5年		
ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	ピクテ	グローバル	ヘルスケア	113.7%	-34.0%	223.8%	24.5%	2.0520%
netWINGSインターネット戦略ファンドBコース（為替ヘッジなし）	G S	米国	テクノロジー	112.5%	-19.7%	164.5%	25.3%	2.0520%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープンBコース	野村	グローバル	ヘルスケア	102.2%	-28.9%	184.2%	25.5%	2.0520%
グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（健次）	三菱UFJ国際	グローバル	ヘルスケア	97.4%	-33.7%	197.7%	19.1%	2.3760%
アムンディ・りそなグローバル・ブランド・ファンド（ティアラ）	アムンディ	グローバル	ブランド	67.0%	-23.5%	118.3%	20.4%	1.9224%
ワールド・ウォーター・ファンドBコース	野村	グローバル	環境	52.7%	-31.1%	121.5%	19.8%	1.8360%
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンドBコース	野村	グローバル	ブランド	37.5%	-17.5%	66.7%	25.0%	1.8360%
ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド（3ヵ月決算型）	ピクテ	グローバル	ブランド	37.3%	-18.6%	68.7%	25.2%	1.6200%
野村グローバルSRI100（野村世界社会的責任投資）	野村	グローバル	環境	3.3%	-50.1%	107.2%	21.6%	1.0260%
世界資源株ファンド	三菱UFJ国際	グローバル	資源・エネルギー	-19.8%	-6.8%	-14.0%	31.4%	2.0304%
ブラックロック・ゴールド・ファンド	ブラックロック	グローバル	資源・エネルギー	-34.2%	-2.2%	-32.7%	35.0%	2.1600%

出所）三菱アセット・ブレインズ

## ■主要アクティブファンドのリターン推移：リターン格差は後半5年で拡大

- 運用タイプ別のそれぞれのカテゴリーの中から、純資産残高の大きなファンドを抽出し、過去10年のリターンの推移を比較した。2006年9月を100として指数化し、パッシブファンドに関してはリターンが平均値に位置しているファンドを用いた。
- 過去10年間で最も動きが異なるのは、テーマ型の資源・エネルギーに分類した「ブラックロック・ゴールド・ファンド」である。元々「金」は株式との相関が低く、経済局面でいえば不況期に選好されるアセットクラスであるため、当然の動きと言える。
- それ以外のファンドでは、市場全体が下落局面であった前半5年でのリターン格差は小さく、上昇局面であった後半5年で格差が発生した。
- 経済全体が成長する局面でも、ミクロの視点で見ると何かしらの成長のけん引役が存在するケースが多く、そうした成長分野への投資はテーマ型ファンドが向いているといえる。ただし、どの分野が本当のけん引役かを見極めるのは意外に難しく、目論見が外れた時は不十分な成果しか享受できない。

表：主要ファンドの過去10年リターン推移（2006年9月＝1.0）





- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
- MAB投信指数「MAB300」(以下、本指数)に関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。また、本指数を商業的に利用する場合にはMABの利用許諾が必要です。

**【照会先】**

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリストグループ

標(しめぎ)・佐藤・竹内・大野

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062

東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

TEL:03-6721-1010 FAX:03-6721-1020

URL: <http://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会